

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 1学年 年間授業計画

科目	現代の国語	2単位	教科担当者	太島 浩		
対象	1 学年 必修		予定授業時間数			
教科書	第一学習社 高等学校 標準 現代の国語		1学期	2学期	3学期	合計
副教材	なし		19	20	15	54

教科・科目の目標

【知識及び技能】	実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。
【思考力・判断力・表現力】	社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。
【学びに向かう力】	言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域				評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：基本的な国語常識の習得 【知】正しい漢字の読み書き、誤字の訂正、四字熟語、正しい文章表現、適切な接続詞の活用等 【思】論理的文章の基本を理解し、内容を正しく理解する。 【学】漢字小テストに積極的に取り組む意欲を身に付ける。ICT機器を活用し、正しい知識を身に付けようとする。文章を簡潔に書く。	・教科書（準拠問題集も含む） ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：世界を広げる 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】文章の展開を正しく理解し、筆者の主張を正確に読み取ろうとする。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・教材 又吉直樹「なぜ本を読むのか」 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
2 学 期	単元：人間と文化 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】論理的文章について段落構成を理解し、筆者の主張を正しく理解する。水に対する西洋の価値観の違いを正確に読み取る。 【学】異文化を理解しようとする意欲を高める。	・教材 山崎正和「水の東西」 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	単元：現代と社会 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】筆者の主張を正しく理解し、人間と環境や生態系との正しいあり方への理解を深める。 【学】学習によって習得した知識に基づき、自己の将来の生活に生かそうとする意欲を身に付ける。	・教材 麓谷いづみ 「イースター島にはなぜ森がないのか」 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	13
3 学 期	単元：社会と人間 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】筆者の主張を正しく理解し、人間にとって仕事をする意義とは何かを正しく読み取る。 【学】貨幣の価値や労働の必要性を正しく理解した上で、自身の将来に結びつけようとする意欲を養う。	・教材 内田樹 「人はなぜ仕事をするのか」 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：現代と社会 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】筆者の主張を理解し、共感を深めることにより、社会に貢献しようとする思いを読み取る。 【学】世界を取り巻く戦争と紛争の状況を正しくとらえ、平和な社会を実現しようとする意欲と態度を養う。	・教材 黒柳徹子 「黄色い花束」 ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組（予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	言語文化	2単位	教科担当者	太島 浩			
対象	2 学年 必修		予定授業時間数				
教科書	第一学習社 高等学校 標準 言語文化		1学期	2学期	3学期	合計	
副教材	なし		19	21	15	55	

教科・科目の目標

【知識及び技能】	実社会に必要な国語能力を高め、文章表現や言語表現に必要な技能を身に付ける。
【思考力・判断力・表現力】	小説や詩歌の表現を正しく理解し、言語感覚を高めることにより多様な表現力を身に付ける。
【学びに向かう力】	言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域				評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：小説「とんかつ」文学作品への理解 【知】読み書き、語句の意味調べ、音読 【思】登場人物の心情理解、自己の考えを伝える、読解の根拠を正しく読み取る。 【学】他者の考えを受容する態度、漢字テストへの取り組み姿勢、タブレット端末の積極活用	・教科書(準拠問題集も含む) ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組(予習・間違い直し) ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：小説「鏡」人物の心理を的確に読み取る。 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味調べ。 【思】物語の展開を正しく理解し、人物の心情変化を正しく読み取る。 【学】読書に親しみ、豊かに表現する態度を身に付ける。	・教科書(準拠問題集も含む) ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組(予習・間違い直し) ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
2 学 期	単元：詩歌「二十億光年の孤独」韻文作品の世界を楽しむ。 【知】詩歌の形式や表現技法を理解する。 【思】作者の意図を正しく読み取り、自己の解釈を他者に伝える。 【学】自ら詩歌を作成し、自己表現しようとする態度を養う。	・教科書(準拠問題集も含む) ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組(予習・間違い直し) ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価 ・詩歌づくりへの取り組み	○	○	○	7
	単元：古文「竹取物語」「絵師良秀」古文に親しむ姿勢を身に付ける。 【知】歴史的仮名遣い、古文単語の理解 【思】古文を正しく理解し、物語の展開を正しく読み取る。 【学】様々な古文作品を読むことにより、自国の文化に対する関心を深める。	・教科書(準拠問題集も含む) ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組(予習・間違い直し) ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	14
3 学 期	単元：小説「公園」日常の何気ない感動を味わう。 【知】読み書き、語句の意味調べ 【思】登場人物の心情理解、心象風景の読み取り 【学】他者の考えを受容する態度、漢字テストへの取り組み姿勢、タブレット端末の積極活用	・教科書(準拠問題集も含む) ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組(予習・間違い直し) ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：小説「羅生門」短編小説の世界を味わう。 【知】語句の意味、比喩表現の理解、文学史の位置づけ 【思】情景に込められた心情描写への理解、登場人物の心情変化の理解 【学】豊かな表現力を身に付ける態度、生涯にわたり文章に親しむ態度を身に付ける。	・教科書(準拠問題集も含む) ・漢字練習シート ・授業ワークシート ・タブレット端末活用					・出席状況 ・漢字小テストへの取組(予習・間違い直し) ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科目	国語総合	2単位	教科担当者	太島 浩		
対象	3学年 必修選択		予定授業時間数			
教科書	新編 国語総合 (教育出版)		1学期	2学期	3学期	学年
副教材	なし		19	19	15	53

目標	<p>○多様な言語表現や古典文学など様々な作品に接することにより、言語文化に関する関心を深め、総合的な言語能力を養う。</p> <p>○基礎的な漢字や語彙の力を身に付ける。</p>
----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	4	国語常識・語彙の習得 古文の基礎知識	基礎的国語能力、語彙力の充 実	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	5	7	小説「ほねとたね」 振り返り週間	登場人物の心情理解 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	6	6	小説「ほねとたね」	主人公の心の揺れに注目させ る	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	7	2	1学期のまとめ 振り返り週間	課題テストに向けた復習 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】学習課題テストと振り
2 学期	9	4	国語表現学習 評論実践入試問題	新聞のコラムを読んで自己の 考えを文章化させる	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	10	4	小説実践融資問題 振り返り週間	実践力養成 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	11	7	評論「彼らがそれを学ばなけ ればならない理由」、古文「和	学ぶ意義と必要性を理解させ る	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	12	4	2学期まとめ 振り返り週間	学習のまとめ 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】学習課題テストと振り
3 学期	1	6	漢詩「絶句と律詩」	近体詩の修辞法に習熟させる	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	2	7	小説「海の方の子」	町の子と海の方の子の心の交 流	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	3	2	年間のまとめ 振り返り週間	年間学習活動のまとめ 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】学習課題テストと振り

評価	授業への出席・参加状況や授業中に実施する理解力テスト・漢字テストのほか、振り返り週間の取組や単元終了時の提出物も加味し、ルーブリックに基づき総合的に評価する。
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科目	現代文A	2単位	教科担当者	太島 浩			
対象	3学年 必修		予定授業時間数				
教科書	高等学校 改訂版 新編 現代文 (第一学習社)		1学期	2学期	3学期	学年	
副教材	なし		18	21	15	54	

目標	<p>○様々な文章に接することにより、言語感覚を研ぎ澄ます。</p> <p>○他者の価値観に触れ、理解力と思想を深める。</p> <p>○論理的な文章を理解し、読解力を深める。</p>
----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	4	小説『調律師のるみ子さん』 人物の心情変化の理解	登場人物の心情を理解させる 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	5	5	小説『調律師のるみ子さん』 学習理解テスト・振り返り週	登場人物の心情を理解させる 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	6	7	詩『永訣の朝』小説『ナイン』 詩の鑑賞・人物の心情理解	登場人物の心情を理解させる 商店街の栄枯盛衰を描く	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	7	2	小説『ナイン』 学習理解テスト・振り返り週	調律師と依頼者の心の交流 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】学習課題テストと振り返り
2 学 期	9	4	随想『出島のチューリップ』 多様な価値観への理解	豊かな文章表現を味わわせる 筆者の主張理解	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	10	6	評論『クマを変えてしまう人間』 学習理解テスト・振り返り	クマの生態変化を理解させる 到達度と自己評価の確認	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	11	8	小説『ひよこの眼』	少女と恋人の切ない恋を描く 心情変化を適切に読み取らせ	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	12	3	2学期まとめ 学習理解テスト・振り返り週	学習理解テストのためのまとめ	【家】演習と振り返り 【学】学習課題テストと振り返り
3 学 期	1	5	小説「バグダッドの靴磨き」	イラク戦争が舞台となる小説	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	2	6	小説「バグダッドの靴磨き」	戦争時における人間の不条理さについて考えさせる	【家】演習と振り返り 【学】音読と授業資料による
	3	4	1年間のまとめ 学習課題テスト・振り返り週	学習理解テストのためのまとめ	【家】演習と振り返り 【学】学習課題テストと振り返り

評価	授業への出席・参加状況や授業中に実施する理解力テスト・漢字テストのほか、振り返り週間の取組や単元終了時の提出物も加味し、ルーブリックに基づき総合的に評価する。
----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	現代文A	2単位	教科担当者	太島 浩			
対 象	4学年 必修		予定授業時間数				
教科書	高等学校 新編 改訂版 現代文A (第一学習社)		1学期	2学期	3学期	学年	
副教材	なし		18	19	6	41	

目 標	<p>○様々な文章の鑑賞をとおして表現力や読解力高める。</p> <p>○論理性の高い文章を読むことにより、論理的思考力を高める。</p> <p>○様々な価値観に触れることにより、多様性への理解を深め、他者への共感的態度を養う。</p>
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	4	小説『いろはに、こんぺいとう』	主人公の揺れる心情を理解する。	【家】 演習と振り返り 【学】 音読と授業資料による学習
	5	6	小説『いろはに、こんぺいとう』 学習課題テスト・振り返り週間	ストーリー展開を的確に読み取る。 到達度と自己評価の確認	【家】 演習と振り返り 【学】 音読と授業資料による学習
	6	6	キャリア学習 志望動機文 小説「卒業」	主人公の心の揺れに注目させる 女性消防士の心の葛藤を描く	【家】 演習と振り返り 【学】 音読と授業資料による学習
	7	2	小説「卒業」 学習課題テスト・振り返り週間	就職・進学に向けた取組 到達度と自己評価の確認	【家】 演習と振り返り 【学】 学習課題テストと振り返り
2 学 期	9	4	キャリア学習 作文・論文指導	面接指導、論作文の完成	【家】 演習と振り返り 【学】 音読と授業資料による学習
	10	4	評論「支え合うことの意味」 学習課題テスト・振り返り週間	人と人の関係の意味を考えさせる 相互信頼における人間性の構築論	【家】 演習と振り返り 【学】 音読と授業資料による学習
	11	7	小説「山月記」	人間存在の不確かさについて学ぶ 近現代小説の傑作作品	【家】 演習と振り返り 【学】 音読と授業資料による学習
	12	4	小説「山月記」 学習課題テスト・振り返り週間	学習のまとめ 到達度と自己評価の確認	【家】 演習と振り返り 【学】 学習課題テストと振り返り
3 学 期	1	6	1年間のまとめ 学習課題テスト	年間学習活動のまとめ 到達度と自己評価の確認	【家】 演習と振り返り 【学】 学習課題テストと振り返り
	2				
	3				

評 価	授業への出席・参加状況や授業中に実施する理解力テスト・漢字テストのほか、振り返り週間の取組や単元終了時の提出物も加味し、ルーブリックに基づき総合的に評価する。
-----	---

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 1学年 年間授業計画										
科目	地理総合		2単位	教科担当者	増田 潔					
対象	1 学年 (必修) 選択		予定授業時間数							
教科書	地理総合 (実教出版)		1学期	2学期	3学期	合計				
副教材	新詳高等地図 (帝国書院)		21	23	16	60				
教科・科目の目標										
【知識及び技能】	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。									
【思考力・判断力・表現力】	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに注目して、概念などを活用して多面的・多角的に考慮したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。									
【学びに向かう力】	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。									
単元の具体的指導目標(3観点)		指導事項・教材・タブレット	領域		評価基準(3観点)		知	思	態	記 時 数
1 学 期	単元 地図や地理情報システムと現代世界 【知】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理システムの役割や有用性などについて理解する。 地図や情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取りまとめる基礎的・基本的な技術を身につける。 【思】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに注目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し表現する。 【学】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】 ・ 球面と平面 ・ 緯度と経度 ・ 日常生活のなかの地図 ・ 国家の領域 ・ 日本の位置と領域 ・ 国家間の結び付き 新聞などの補助教材活用 タブレット使用 (ICTスライドなど)			①取り組み状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度 (興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	11	
	単元 国家間の結び付き 【知】 地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思】 世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】 ・ 実際の時差を求めさせる。 ・ 世界にある国境を画像で紹介して、特徴、国境が決められた歴史的背景について考査させる。 新聞などの補助教材活用 タブレット使用 (ICTスライドなど)			①取り組み状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度 (興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	10	
	単元 生活文化の多様性と国際協力 【知】 世界の人々の生活文化を基に、生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもち、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】 ・ 産業の進展と生活文化 ・ 宗教に基づいた生活文化 ・ 国家民族言語と生活文化 ・ 移民と生活文化 新聞などの補助教材活用 タブレット使用 (ICTスライドなど)			①出席状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度 (興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	11	
2 学 期	単元 気候と生活文化 【知】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解する。 【思】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察させる。 【学】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。	【指導事項】 ・ 気候の違いによる植生、生活様式の違いについて考査させる。 新聞などの補助教材活用 タブレット使用 (ICTスライドなど)			①取り組み状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度 (興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑦振り返り週間ワークシート	○	○	○	14	
	単元 地球的課題と国際協力 【知】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】 ・ 人口問題 ・ 食料問題 ・ エネルギー問題 ・ 地球環境問題 新聞などの補助教材活用 タブレット使用 (ICTスライドなど)			①取り組み状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度 (興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	10	
3 学 期	単元 地域調査 【知】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	【指導事項】 ・ 課題発見 ・ 調査結果の整理、分析 ・ 発表と報告 新聞などの補助教材活用 タブレット使用 (ICTスライドなど)			①取り組み状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度 (興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	6	

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	公共	単位	教科担当者	増田 潔		
対象	2 学年 (必修) 選択	予定授業時間数				
教科書	公共 (教育図書)	1学期	2学期	3学期	合計	
副教材	なし	20	22	8	50	

教科・科目の目標

【知識及び技能】	学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す。
【思考力・判断力・表現力】	社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うこととくに重点を置く。
【学びに向かう力】	さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域					評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
			公民	政治	経済	情報	職業					
1 学 期	単元:公共と人 【知】 ・青年期が人生において持つ意味を理解する。 ・日本における「おおよげ」と欧米における「パブリック」の違いについて理解する。 【思】 ・公共的空間とはどのような空間か自分の体験や具体的な事例に基づき思考する。 ・現在の日本社会の公共的なあり方は先人の政治的取り組みの成果であることを表現する。 【学】 ・多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深める。 将来自分が働くことを想定し、自分の労働力をどのように生かすべきか自覚を深める。	【指導事項】 ・人は一人では生きられない ・人はどのようにつながるのか ・対話から生まれる公共 ・日本の公共思想 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用(ICTスライドなど)						①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度(興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	6
	単元:公共と倫理 【知】 ・功利主義と義務論の相違について理解する。 ・温暖化の原因について理解する。 【思】 ・社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方にに基づき表現する。 ・地球温暖化問題について、自分の身の回りの生活と、世界規模の視点の双方の観点から、考えを表現する。 【学】 ・学習した内容を自らの倫理観、過去の行為に照らし合わせ、思考する。 ・CO <sub>2</sub> 削減のためには、一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考する。	【指導事項】 ・功利主義と義務論 ・地球温暖化問題 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用(ICTスライドなど)						①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度(興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	6
	単元:公共の基本原則 【知】 ・自分にとって有益な選択を主張するだけでなく、不利益をこうむる他者への配慮ができるようになる。 ・異なる意見を持つ他者の考え方を理解する。 【思】 ・公共的な観点から、表内の選択肢について自らの考えを表現する。 ・表内の反論に対して、自らの考えを表現する。 【学】 相手の意見を聞き、複数の選択肢を横断し、最適な解を模索する。	【指導事項】 ・生徒会予算をどう分配するか ・意見が分かれたときにどう決めるか ・民主政治の歴史 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用(ICTスライドなど)						①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度(興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	4
2 学 期	単元:現代社会の諸課題 法 【知】 ・法と道徳との相違点について理解する。 ・日本の法体系、法の分類、法の対象について理解する。 【思】 ・法の限界を理解し、法の実効性を高めるための手段について思考する。 ・よりよい社会の実現のために法がどのような機能を果たしているか表現する。 【学】 法について興味関心を持たせる。	【指導事項】 ・法と社会 ・日本の司法制度 ・国民の司法参加 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用(ICTスライドなど)						①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度(興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	4
	単元:現代社会の諸課題 政治 【知】 ・民主主義とは、国民に主権があるという基本的な考え方にに基づき、これを実現するためにさまざまな選挙制度や法律があることを理解し、その内容を読み取る。 【思】 ・個々の選挙制度についての利点と難点を、民意をよりよく反映させるという観点から説明することができるようになる。 【学】 ・選挙に関心をもち、18歳になるときを想定して、主権者としての自覚を深める。	【指導事項】 ・選挙と政治参加 ・公正な世論の形成 ・国会と内閣 ・国家主権と領土問題 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用(ICTスライドなど)						①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度(興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	11
	単元:現代社会の諸課題 経済 【知】 ・仕事と私生活の両立を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の意義を理解する。 ・日本経済の成長してきた経緯を踏まえ、今後の展望について理解する。 【思】 ・職業のあり方が産業構造の変化とともに変わることを感じ、自らが就労する近い将来を見据えて、働くことの意味と価値を表現する。 【学】 ・働くことの意味について思考し、経済的主体としての自覚を深める。	【指導事項】 ・法と社会 ・職業選択 ・雇用と労働 ・労働者の権利 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用(ICTスライドなど)						①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度(興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	11
3 学 期	単元:現代社会の諸課題 情報 【知】 ・メディアとはテレビやスマートフォンなどの単なる機器ではなく、情報源そのものであることを理解する。 ・現代人はメディアを介して人とつながっていることから、社会や公共を考えるうえでメディアの重要性を理解する。 【思】 ・なぜ人はスマートフォンにかじりついているのか、それを通じて何をしようとしているのか、自らとメディアの関係について考える。 ・社会に生きる人間の多様性と、ネット空間の匿名性を理解し、ネットを公共的空間にするための方策について思考している。 【学】 ・メディア論に関心をもち、より深く学ぶという意欲をもつ。 ・フィルターバブルの外に出るための試みを実践する。	【指導事項】 ・「つながりばなし」の私 ・インターネットは公共圏か? 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用(ICTスライドなど)						①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度(興味・関心・意欲) ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	8

科 目	世界史 A	2 単位	教科担当者	増田 潔			
対 象	3 学年 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 必修選択		予定授業時間数				
教 科 書	帝国書院 明解 世界史 A		1 学期	2 学期	3 学期	学年	
副 教 材	な し		22	20	15	57	

目 標	世界の歴史を概観させ、現在起こっている出来事とどのように結びついているか関心を持たせ、考察させる。特に、並行して学習している政治・経済とも関連の強い近現代史について理解を深めさせる。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	6	大航海時代の始まり ヨーロッパの新しい国際関係	ポルトガル・スペインの航海 絶対王政 宗教戦争	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	5	7	イギリス市民革命	ピューリタン革命 名誉革命	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	6	7	フランス絶対王政	ユグノー戦争 ブルボン朝 ルイ 14 世	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	7	2	ヨーロッパの新しい国際関係	オランダ独立戦争 三十年戦争	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
2 学期	9	4	フランス革命	バスティーユ牢獄襲撃事件 ジャコバン派による恐怖政治	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	10	5	ナポレオン時代 ウィーン体制	ナポレオン戦争 ウィーン会議	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	11	8	ウィーン体制の崩壊 帝国主義のヨーロッパ	七月革命 二月革命 アフリカ・アジア植民地支配	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	12	3	第一次世界大戦	サライエヴォ事件 無制限潜水艦作戦	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
3 学期	1	5	ヴェルサイユ体制 ワシントン体制	パリ講和会議 ウィルソン「14カ条」	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	2	7	ファシズムの台頭 第二次世界大戦	ムッソリーニ ヒトラー ヨーロッパ戦線 太平洋戦争	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	3	3	サンフランシスコ平和会議 各国現代史	サンフランシスコ平和会議 第1～4次中東戦争	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習

評 価	①出席状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート
-----	---

科 目	政治・経済	2 単位	教科担当者	増田 潔		
対 象	3 学年 必修 <b>必修選択</b>		予定授業時間数			
教 科 書	実教出版 最新 政治・経済		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		22	22	15	59

目 標	日々変化する国際情勢や現代社会が抱える様々な政治と経済の問題について、自ら学び考える態度を身に付ける。経済と政治の基本的なしくみを学ぶことにより、民主的・平和的な国家を形成する一員としての自覚を持たせる。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	5	現代社会の諸問題①	雇用と労働をめぐる問題 人種民族問題	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	5	7	現代社会の諸問題②	農業と食料問題 少子高齢社会と社会保障	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	6	8	現代社会の諸問題③	地域社会の変貌と住民生活 地球環境問題	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	7	2	現代社会の諸問題④	SDGs の取組 (エネルギー・ゴミ)	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
2 学期	9	3	現代国家と民主政治	民主政治の成立 民主政治のしくみと課題	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	10	6	日本国憲法と基本的人権①	日本国憲法の成立 自由権	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	11	9	日本国憲法と基本的人権②	平等権 社会権 参政権 新しい人権	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	12	4	現代の国際政治	国際社会と国際法 国際連合と国際環境	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
3 学期	1	6	日本の平和主義と国際平和	平和主義 自衛隊	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	2	6	現代の経済社会	企業の役割 金融の役割 日本の財政の課題	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	3	3	現代の国際経済	貿易と国際収支	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習

評 価	①出席状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート
-----	---

科 目	地理 A	2 単位	教科担当者	増田 潔			
対 象	4 学年 <u>必修</u> ・必修選択		予定授業時間数				
教 科 書	帝国書院 高等学校 新地理 A		1 学期	2 学期	3 学期	学年	
副 教 材	な し		20	20	6	46	

目 標	現在、世界各地で起こっている地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い世界の国々や、そこで暮らす人々とのつながりや関りの重要性を理解し、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	4	グローバル化が進む世界	結びつきを強める現代社会 交通の発展 宗教分類	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	5	6	中国の生活・文化 韓国の生活・文化	中国における民族文化 朝鮮半島の歩み	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	6	7	東南アジアの生活・文化	東南アジアの民族文化 モノカルチャー経済の形成	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	7	3	南アジアの生活・文化 中央・西アジアの生活・文化	ヒンドゥー教と人々の生活 イスラームによる民族形成	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
2 学期	9	4	ヨーロッパの生活・文化①	現代ヨーロッパ形成の歴史 ヨーロッパの歩みと文化	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	10	7	ヨーロッパの生活・文化②	EU の成り立ち ヨーロッパの農業と工業文化	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	11	6	ロシアの生活・文化 アメリカの生活・文化	ロシア社会と社会主義 移民大国アメリカ	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	12	3	複雑にからみ合う地球的課題	熱帯林破壊などの環境問題 エネルギー問題	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
3 学期	1	5	現代の経済社会（1）	企業の役割 金融の役割	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	2	1	現代の経済社会（2）	日本の財政の課題と SDGs	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習
	3				【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・演習

評 価	①出席状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート
-----	---

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 1学年 年間授業計画

科目	数学 I	2 単位	教科担当者	鈴木 耕大		
対象	1 学年 <b>必修</b> 選択	予定授業時間数				
教科書	新 高校の数学 I (数研出版)	1学期	2学期	3学期	合計	
副教材	なし	22	20	12	54	

教科・科目の目標	
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解、数学的な問題解決に必要な知識等を身に付けている。
【思考力・判断力・表現力】	事象を数学的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。
【学びに向かう力】	問題解決などにおいて、粘り強く柔軟に考え、その過程を振り返り考察を深めたり評価・改善したりする態度を身に付けている。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域					評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	単元：数と式の計算 【知】多項式について、正しく整理することができる。それらを活用できる。 【思】単項式や多項式について、数学的な考察ができる。 【学】数学的な用語を正しく理解し活用しようとする。	【指導事項】 ①単項式と多項式 ②多項式の加法と減法 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況		○	○		4	
	単元：数と式の計算 【知】乗法公式の意味を理解し、それらを活用できる。 【思】一つの文字に着目したり、一つの文字に置き換えたりするなどして、色々な見方をすることができる。 【学】多項式の加法・減法と乗法について正しく計算しようとする。	【指導事項】 ①多項式の乗法 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況		○		○	4	
	単元：数と式の計算 【知】因数分解の意味を理解し、それらを活用することができる。複雑な式が簡単な式に帰着して因数分解できる。 【思】目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。 【学】因数分解に関心をもち、目的に応じて式の変形しようとする。	【指導事項】 ①因数分解 ②展開、因数分解の工夫 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況				○	○	7
	単元：数と式の計算 【知】分数の有理化について理解を深め、処理することができる。 【思】数の四則演算の可能性について考察することができる。 【学】正の数の平方根について関心をもち、理解しようとする。	【指導事項】 ①根号を含む式の計算 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況				○	○	7
2 学 期	単元：一次不等式 【知】不等式の中に含まれている文字の意味を理解している。不等式の性質を理解している。 【思】一次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。 【学】数量の関係を不等式で表すことのよさをとらえようとする。	【指導事項】 ①不等式 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況		○	○		6	
	単元：一次不等式 【知】一次不等式とその意味を理解し解を求めるための基礎的な知識を身に付ける。 【思】不等式の性質を等号の性質と対比してとらえることができる。 【学】具体的な事象の考察に一次不等式を活用しようとする。	【指導事項】 ①不等式の解 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況		○		○	6	
	単元：二次関数 【知】二次関数とそのグラフ及び関数の値の変化について理解し、基礎的な知識を身に付ける。 【思】関数的な見方や考え方を身に付け、具体的な事象について、グラフを用いて考察することができる。 【学】二次関数とそのグラフや値の変化に関心をもち、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、二次関数を活用しようとする。	【指導事項】 ①二次関数のグラフ 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況				○	○	8
3 学 期	単元：二次関数 【知】 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフの特徴を理解している。 【思】 $y=ax^2$ のグラフの平行移動によって、 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフの特徴を考察することができる。 【学】二次関数とそのグラフについて関心をもち、調べようとする。	【指導事項】 ①二次関数のグラフ 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況				○	○	6
	単元：二次関数 【知】二次関数の最大値・最小値の意味を理解している。 【思】二次関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察することができる。 【学】二次関数の値の変化に関心をもち、具体的な事象の考察に二次関数の最大・最小を活用しようとする。	【指導事項】 ①二次関数の最大値・最小値 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書					【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況		○	○			6

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	数学 I	2単位	教科担当者	鈴田 耕大		
対象	2 学年 <b>必修</b> ・選択	予定授業時間数				
教科書	新 高校の数学 I (数研出版)	1学期	2学期	3学期	合計	
副教材	なし	20	20	11	51	

教科・科目の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解、数学的な問題解決に必要な知識等を身に付けている。
【思考力・判断力・表現力】	事象を数学的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。
【学びに向かう力】	問題解決などにおいて、粘り強く柔軟に考え、その過程を振り返り考察を深めたり評価・改善したりする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域					評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
			数	理	幾	代	統					
1 学 期	単元: 直角三角形 【知】三平方の定理について理解することができる。 【思】三平方の定理について数学的な考察ができる。 【学】三平方の定理を活用し辺の長さを求めようとする。	【指導事項】 ①三平方の定理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況	○	○		4	
	単元: 三角比 【知】三角比の定義について理解することができる。 【思】三角比について数学的な考察ができる。 【学】三角比に関心をもち理解しようとする。	【指導事項】 ①三角比 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況	○		○	4	
	単元: 三角比の利用 【知】三角比の活用方法について理解している。 【思】三角比を用いて辺の長さや角度を求めることができる。 【学】具体的な事象の考察に三角比を活用しようとする。	【指導事項】 ①三角比の利用 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況			○	6	
	単元: 三角比の相互関係 【知】相互関係について理解している。 【思】三角比の相互関係を利用して、三角比の値を求めることができる。 【学】三角比の相互関係に関心をもち活用しようとする。	【指導事項】 ①三角比の相互関係 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況			○	6	
2 学 期	単元: 鈍角の三角比 【知】座標を用いた三角比の定義を理解することができる。 【思】座標を用いて鈍角の三角比を考察することができる。 【学】鈍角の三角比に関心をもち理解しようとする。	【指導事項】 ①鈍角の三角比 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況	○	○		6	
	単元: 正弦定理 【知】正弦定理を理解し、活用方法を身に付ける。 【思】正弦定理を利用し、外接円の半径や角度、辺の長さを求めることができる。 【学】正弦定理に関心をもち、活用しようとする。	【指導事項】 ①正弦定理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況	○		○	6	
	単元: 余弦定理 【知】余弦定理を理解し、活用方法を身に付ける。 【思】余弦定理を理解し、辺の長さや角度を求めることができる。 【学】具体的な事象に余弦定理を活用しようとする。	【指導事項】 ①余弦定理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況			○	5	
	単元: 三角形の面積 【知】三角比を用いた三角形の面積の求め方について理解している。 【思】三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 【学】三角比を用いた面積公式に関心をもち活用しようとする。	【指導事項】 ①三角形の面積 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況			○	3	
3 学 期	単元: データの整理 【知】データに関する基本的な意味を理解している。 【思】データを整理し全体の傾向を見出すことができる。 【学】身の回りのデータに関心をもち考察する。	【指導事項】 ①データの整理 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況	○	○		2	
	単元: データの代表値 【知】代表値の基礎的な知識を身に付けている。 【思】データの代表値を求めることができる。 【学】身近なデータの代表値に関心をもち、考察しようとする。	【指導事項】 ①データの代表値 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況			○	3	
	単元: データの散らばり 【知】標準偏差と分散の基本的な意味について理解する。 【思】標準偏差や分散を理解し考察することができる。 【学】具体的な事象の考察に標準偏差や分散を活用しようとする。	【指導事項】 ①標準偏差 分散 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③出席状況	○	○		3	
	単元: データの相関 【知】データの相関について理解している。 【思】表から相関関係を見出したり、相関係数を求めることができる。 【学】具体的な事象とデータの相関を結び付け調べようとしている。	【指導事項】 ①データの相関 【教材・タブレット】 ①プリント ②教科書	/	/	/	/	【学】 ①授業態度 【知、思】 ②単元別考査 【学】 ③活動状況			○	3	

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	数学Ⅱ	2 単位	教科担当者	鈴木耕大		
対 象	3 学年		予定授業時間数			
教 科 書	新 数学Ⅱ (数研出版)		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		1 9	2 3	1 5	5 7

目 標	式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数について理解を深め、基本的な問題について解けるようにする。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	5	式と証明	展開の公式・因数分解	【家】 演習と振り返り 【学】 公式の習得
	5	5	式と証明	整式の割り算	【家】 演習と振り返り 【学】 整式の割り算の演習
	6	5	式と証明	分数式の計算	【家】 演習と振り返り 【学】 計算練習
	7	4	図形と方程式	2 点間の距離が求められるようにする。	【家】 演習と振り返り 【学】 計算練習
2 学 期	9	5	図形と方程式	内分点・外分点の座標が求められるようにする。	【家】 演習と振り返り 【学】 公式の習得
	10	6	図形と方程式	直線の方程式が求められるようにする。 二直線の関係について理解する。	【家】 演習と振り返り 【学】 二直線に関する問題演習
	11	6	図形と方程式	円の方程式が求められるようにし、 そのグラフをかけるようにする。	【家】 演習と振り返り 【学】 円の方程式について理解する。
	12	6	図形と方程式	円と直線に関する問題について解けるようにする。	【家】 演習と振り返り 【学】 円と直線に関する問題演習
3 学 期	1	5	図形と方程式	不等式の領域について図示できるようにする。	【家】 演習と振り返り 【学】 不等式の領域の図示
	2	5	三角関数	三角比の拡張について理解する。	【家】 演習と振り返り 【学】 三角関数に関する問題演習
	3	5	三角関数	加法定理を使って計算できるようにする。	【家】 演習と振り返り 【学】 三角関数に関する問題演習

評 価	授業態度・課題の取り組み状況・小テスト・出席状況
-----	--------------------------

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	数学A	2 単 位	教科担当者	鈴田 耕大			
対 象	3 学 年		予定授業時間数				
教 科 書	新 高校の数学A (数研出版)		1 学 期	2 学 期	3 学 期	学 年	
副 教 材	な し		1 9	2 3	1 5	5 7	

目 標	場合の数と確率・図形の性質について理解を深め、基本的な問題について解けるようにする。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	4	場合の数と確率	集合	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の確認
	5	5	場合の数と確率	順列	【家】演習と振り返り 【学】順列の計算練習
	6	5	場合の数と確率	組み合わせ	【家】演習と振り返り 【学】組み合わせの計算練習
	7	5	場合の数と確率	組み合わせ	【家】演習と振り返り 【学】組み合わせの計算
2 学 期	9	6	場合の数と確率	確率の計算	【家】演習と振り返り 【学】確率の演習
	10	6	場合の数と確率	独立試行の確率・反復試行の確率	【家】演習と振り返り 【学】独立試行・反復試行の確率
	11	6	図形の性質	三角形と角	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の習得
	12	5	図形の性質	重心・外心・内心	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の習得
3 学 期	1	5	図形の性質	円周角の定理・円に内接する四角形	【家】演習と振り返り 【学】問題演習
	2	5	図形の性質	円と直線・接線と弦の作る角	【家】演習と振り返り 【学】問題演習
	3	5	図形の性質	方べきの定理	【家】演習と振り返り 【学】方べきの定理の演習

評 価	授業態度・課題の取り組み状況・小テスト・出席状況
-----	--------------------------

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	数学Ⅱ	2 単 位	教科担当者	鈴田 耕大			
対 象	4 学 年		予定授業時間数				
教 科 書	新 数学Ⅱ (数研出版)		1 学 期	2 学 期	3 学 期	学 年	
副 教 材	な し		2 0	1 8	5	4 3	

目 標	指数・対数・微分・積分について理解を深め、基本的な問題について解けるようにする。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	5	指数	分数の指数・負の指数・0の指数について理解する。	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の理解
	5	5	対数	対数の性質を利用して計算できるようにする。	【家】演習と振り返り 【学】対数の性質の演習
	6	5	微分	公式を利用して導関数が求められるようになる。	【家】演習と振り返り 【学】導関数について理解する。
	7	5	微分	増減表について理解する。	【家】演習と振り返り 【学】導関数について理解する。
2 学 期	9	5	微分	増減表が作れるようになる。	【家】演習と振り返り 【学】増減表の作成
	10	5	積分	増減表を利用してグラフが書けるようになる。	【家】演習と振り返り 【学】グラフの描画
	11	4	積分	不定積分の計算ができるようになる。	【家】演習と振り返り 【学】不定積分を求める。
	12	4	積分	定積分の計算ができるようになる。	【家】演習と振り返り 【学】定積分の計算
3 学 期	1	5	積分	面積の計算ができるようにする。	【家】演習と振り返り 【学】面積計算
	2	0			
	3	0			

評 価	授業態度・課題の取り組み状況・小テスト・出席状況
-----	--------------------------

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 1学年 年間授業計画

科目	科学と人間生活	2単位	教科担当者	奥田 晋平		
対象	1 学年 <b>必修</b> 選択		予定授業時間数			
教科書	数研出版 科学と人間生活		1学期	2学期	3学期	合計
副教材	なし		22	23	16	61

教科・科目の目標

【知識及び技能】	科学と人間生活の関わりについて基本的な概念を理解するとともに、科学的に探究する基本的な技能が身につく。
【思考力・判断力・表現力】	自然の事物・現象と人間生活と関連付けて、得られた情報から、解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
【学びに向かう力】	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを立てたり、振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域				評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：物質の科学 【知】 一般的な金属・プラスチックの性質と構造を理解する。 資源の再利用について理解する。 【思】 用途について、性質と関連させて説明することができる。 資源の有効活用について現状の問題点を理解し、自分たちができることについて意見することができる。 【学】 材料とその再利用について学習した内容を、日常生活における身近な製品や環境問題などと結びつけ、意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 ①金属と人間生活 ②身の回りの金属と製錬 ③金属のさびとその防止 ④プラスチックとその性質 ⑤プラスチックの成り立ち ⑥さまざまなプラスチック ⑦資源の再利用 【教材・タブレット】 教科書 プリント（ニュース、授業プリント、振り返りシート、実験プリント） タブレット（Teamsなど）					【知】 単元別考査 実験操作 【思】 実験プリント ワークシート 【学】 出席状況・提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	19
	単元：生命の科学 【知】 微生物に関わる一連の科学史および、身の回りで活用されている微生物について理解する。 【思】 微生物を観察し、微生物の構造を表現できる。 微生物の実験を通して、目に見えない微生物の事象を考察・説明することができる。 【学】 微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 ①身のまわりの微生物 ②微生物とその発見の歴史 ③発酵食品への微生物の利用 ④乳酸発酵とアルコール発酵 ⑤医薬品への微生物の利用 ⑥生態系における微生物 ⑦環境の浄化と微生物 【教材・タブレット】 教科書 プリント（ニュース、授業プリント、振り返りシート、実験プリント） タブレット（Teamsなど）					【知】 単元別考査 実験操作 【思】 実験プリント ワークシート 【学】 出席状況・提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	14
	単元：光や熱の科学 【知】 温度、熱運動について理解する。 エネルギーの種類とその利用について理解する。 【思】 身の回りのものから微粒子の運動について説明することができる。 エネルギーの変換の例をあげ、その際の問題点などを説明することができる。 【学】 熱の性質とその利用について日常生活などに結びつけ意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 ①温度と熱運動 ②熱容量 ③熱の伝わり方 ④仕事や電流と熱の発生 ⑤エネルギーの移り変わり ⑥熱エネルギーの利用 ⑦エネルギー資源の利用 【教材・タブレット】 教科書 プリント（ニュース、授業プリント、振り返りシート、実験プリント） タブレット（Teamsなど）					【知】 単元別考査 実験操作 【思】 実験プリント ワークシート 【学】 出席状況・提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	14
2 学 期	単元：宇宙や地球の科学 【知】 日本の四季と気象について理解する。 大気循環と海洋の循環について理解する。 【思】 日本周辺の気圧配置と季節の変化と、気候の特徴との関係を説明できる。 太陽放射エネルギーとその活用について考察できる。 【学】 気象現象に興味を持ち、天体と海洋の運動について意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 ①日本の四季と気象災害 ②大気の大循環 ③地球を出入りするエネルギー ④太陽の構造と太陽放射 ⑤天体の運動 ⑥天体の運動と海洋 【教材・タブレット】 教科書 プリント（ニュース、授業プリント、振り返りシート、実験プリント） タブレット（Teamsなど）				【知】 単元別考査 実験操作 【思】 実験プリント ワークシート 【学】 出席状況・提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	14	
	単元：宇宙や地球の科学 【知】 日本の四季と気象について理解する。 大気循環と海洋の循環について理解する。 【思】 日本周辺の気圧配置と季節の変化と、気候の特徴との関係を説明できる。 太陽放射エネルギーとその活用について考察できる。 【学】 気象現象に興味を持ち、天体と海洋の運動について意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 ①日本の四季と気象災害 ②大気の大循環 ③地球を出入りするエネルギー ④太陽の構造と太陽放射 ⑤天体の運動 ⑥天体の運動と海洋 【教材・タブレット】 教科書 プリント（ニュース、授業プリント、振り返りシート、実験プリント） タブレット（Teamsなど）					【知】 単元別考査 実験操作 【思】 実験プリント ワークシート 【学】 出席状況・提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	14
3 学 期	単元：宇宙や地球の科学 【知】 日本の四季と気象について理解する。 大気循環と海洋の循環について理解する。 【思】 日本周辺の気圧配置と季節の変化と、気候の特徴との関係を説明できる。 太陽放射エネルギーとその活用について考察できる。 【学】 気象現象に興味を持ち、天体と海洋の運動について意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 ①日本の四季と気象災害 ②大気の大循環 ③地球を出入りするエネルギー ④太陽の構造と太陽放射 ⑤天体の運動 ⑥天体の運動と海洋 【教材・タブレット】 教科書 プリント（ニュース、授業プリント、振り返りシート、実験プリント） タブレット（Teamsなど）				【知】 単元別考査 実験操作 【思】 実験プリント ワークシート 【学】 出席状況・提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	14	

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	生活の中の科学	2 単位	教科担当者	奥田 晋平		
対象	2 学年 <b>必修</b> 選択		予定授業時間数			
教科書	なし		1学期	2学期	3学期	合計
副教材	なし		23	22	15	60

教科・科目の目標

【知識及び技能】	科学と人間生活の関わりについて基本的な概念を理解するとともに、科学的に探究する基本的な技能が身につく。
【思考力・判断力・表現力】	自然の事物・現象と人間生活と関連付けて、得られた情報から、解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
【学びに向かう力】	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを立てたり、振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域					評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：身近な科学（化学分野） 【知】 身近な酸化反応について理解する。 界面活性剤について理解する。 【思】 身近な現象と関連させて酸化反応について説明することができる。 界面活性剤について性質を説明することができる。 【学】 実験を通して現象の見通しを立てて科学的に探究しようとしている。	【指導事項】 ①燃焼反応 ②炎色反応 ③金属の腐食 ④界面活性剤の性質 【教材・タブレット】 プリント（授業プリント、振り返りシート） タブレット（Teamsなど）						【知】 確認テスト 【思】 ワークシート 【学】 提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	20
	単元：身近な科学② （生物・物理分野） 【知】 微生物に関わる一連の科学史および、身の回りで活用されている微生物について理解する。 【思】 実験を通して、目に見えない微生物・光の事象を考察・説明することができる。 【学】 実験を通して現象の見通しを立てて科学的に探究しようとしている。	【指導事項】 ①身のまわりの微生物 ②微生物とその発見の歴史 ③発酵食品への微生物の利用 ④光の性質 ⑤染色 【教材・タブレット】 プリント（授業プリント、振り返りシート） タブレット（Teamsなど）						【知】 確認テスト 【思】 ワークシート 【学】 提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	12
2 学 期	単元：八丈島に関連する科学 【知】 八丈島に関連する科学について、植相や地層などを通して理解する。 【思】 八丈島の植相や地質学について 【学】 熱の性質とその利用について日常生活などに結びつけ意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 ①八丈島の植相 ②八丈島に関連する地学 ③八丈島の食文化 ④八丈島の生物 【教材・タブレット】 プリント（授業プリント、振り返りシート） タブレット（Teamsなど）						【知】 確認テスト 【思】 ワークシート 【学】 提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	14
	単元：SDGsをふまえたレポート 【知】 SDGsのことを理解している。 【思】 持続可能な社会の実現を地球規模のスケールで考えることができる。 【学】 自分が決めたテーマに対して主体的に探究しようとしている。	【指導事項】 レポートの書き方 【教材・タブレット】 プリント（授業プリント、振り返りシート、レポート） タブレット（Teamsなど）						【知】 確認テスト レポート 【思】 ワークシート レポート 【学】 提出物 授業プリント 振り返りシート	○	○	○	14

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	生物基礎	2 単位	教科担当者	奥田 晋平			
対 象	3 学年	必修 必修選択	予定授業時間数				
教 科 書	東京書籍 改訂 新編 生物基礎		1 学期	2 学期	3 学期	学年	
副 教 材	な し		19	20	14	53	

目 標	生物や生命現象についての ICT 機器を活用した視聴覚教材、観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	3	1 編 生物の特徴 生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー	生物の多様性と共通性、細胞小器官、ATP について理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験
	5	6	1 編 生物の特徴 生命活動とエネルギー	酵素、光合成、葉緑体とミトコンドリアの起源を理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験・演習
	6	7	2 編 遺伝子とのはたらき 生物と遺伝子 遺伝情報の分配	DNA の基本構造、塩基配列、細胞分裂について理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験・
	7	3	2 編 遺伝子とのはたらき 遺伝情報とタンパク質の合成	遺伝情報をもとにしてタンパク質が構成される仕組みを理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験・演習
2 学期	9	4	3 編 生物の体内環境の維持 体内環境の維持	体内の各器官の組成とはたらきを理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験
	10	7	3 編 生物の体内環境の維持 体内環境を保つしくみ	自律神経系による体内環境の維持のしくみを理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験・演習
	11	6	3 編 生物の体内環境の維持 体内環境を守るしくみ	免疫のシステムについて理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験
	12	3	4 編 生物の多様性と生態系 植生の多様性と遷移	植生を通して生物の営みを理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験・演習
3 学期	1	5	4 編 生物の多様性と生態系 バイオームとその分布	バイオームについて基本事項を理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験
	2	5	4 編 生物の多様性と生態系 生態系とその保全	生態系での物質の流れ、バランスについて理解させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験
	3	4	4 編 生物の多様性と生態系 まとめ	4 編で学んできたことをもとに八丈島の環境保全について考える。	【家】 演習と振り返り 【学】 ワークシート・実験

評 価	ワークシート、単元別考査、授業時の意欲、実験の操作とその理解、振り返りシート
-----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	化学基礎	2 単位	教科担当者	奥田 晋平			
対 象	4 学年 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> 必修選択		予定授業時間数				
教 科 書	東京書籍 改定 新編 化学基礎		1 学期	2 学期	3 学期	学年	
副 教 材	な し		22	22	7	51	

目 標	物質は全て原子から成り立つことを知り、化学反応は原子の組み合わせの変化であることを理解する。また、化学反応の種類について理解し、それらが日常生活の中でも深く関連していることに気づき、身近に存在する化学に興味関心を深め、化学的な思考力を身につけていく。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	5	1 編 物質の構成 物質の成分	物質の分類と、物質の分離方法について 実験等を通して理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
			1 編 物質の構成 物質の構成元素 物質の三態	物質を構成する元素、物質の三態について 実験を通して理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
	6	8	1 編 物質の構成 原子の構造 電子配置と周期表	原子の構造を理解し、陽子の数の違いや 電子の数の違いについて理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験・演習
			1 編 物質の構成 化学結合	それぞれの化学結合の違いについて物 質を例に考えさせる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
2 学期	9	3	1 編 物質の構成 化学結合	それぞれの化学結合の違いについて理 解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験・演習
	10	6	2 編 物質の変化 原子量・分子量・物質質量	原子量・分子量・物質質量の関係について 考えさせる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
			2 編 物質の変化 化学反応式とその量的関係	化学反応と物質質量の関係を理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験・演習
	12	4	2 編 物質の変化 酸と塩基	酸と塩基の基本的事項と中和反応につ いて理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
3 学期	1	7	2 編 物質の変化 酸化還元反応	酸化と還元反応が電子のやり取りで あることを理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
	2				
	3				

評 価	ワークシート、単元別考査、授業時の意欲、実験の操作とその理解、振り返りシート
-----	--

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	海洋・地球・宇宙	2単位	教科担当者	奥田 晋平		
対 象	4学年 必修 <u>必修選択</u>	予定授業時間数				
教科書	なし	1学期	2学期	3学期	学年	
副教材	なし	20	20	5	45	

目 標	プレートテクトニクス、地表で起こる地質活動、形成された地形などについて、それらの関連性を八丈島の形成や地理的關係に絡めながら学ぶことで理解を深めていく。海や大地によって、地域独特の気候が生まれ、そこからさまざまな文化が生まれていくことについても学んでいく。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	4	宇宙・地球の成り立ち	生徒それぞれに興味があるテーマを考え、探究方法を考えさせる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート
	5	6	海宇宙・地球の成り立ち	テーマの設定と探究方法が適切かどうか考えさせる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート
	6	7	プレートテクトニクス・地震・火山活動	プレートテクトニクス・地震・火山について理解する。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・
	7	3	八丈島の歴史・島の形成・地理的気候について	八丈島の成り立ちや、現在の八丈島の自然環境について理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート
2 学 期	9	4	海洋・宇宙・地球についての探究活動	生徒それぞれに興味があるテーマを考え、探究方法を考えさせる。	【家】演習と振り返り 【学】調べ学習・レポート作成
	10	7	海洋・宇宙・地球についての探究活。	テーマの設定と探究方法が適切かどうか考えさせる。	【家】演習と振り返り 【学】調べ学習・レポート作成
	11	6	海洋・宇宙・地球についての探究活動	レポート等を作製する。	【家】演習と振り返り 【学】調べ学習・レポート作成
	12	3	天体観測の基礎	天体観測の基礎を理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
3 学 期	1	5	天体観測	天体観測を実際に行い、冬の天体について理解させる。	【家】演習と振り返り 【学】ワークシート・実験
	2				
	3				

評 価	ワークシート、レポート、授業時の意欲、振り返りシート
-----	----------------------------





令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 年間授業計画

科目	体育	3 単位	教科担当者	富永 一哉		
対象	2 学年 必修		予定授業時間数			
教科書	大修館 現代高等保健体育		1学期	2学期	3学期	合計
副教材	なし		30	34	23	87

教科・科目の目標

a【知識 及び 技能】	運動の実践を通して、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
b【思考力・判断力・表現力】	生涯にわたって運動を継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
c【学びに向かう力】	運動における競争や協働の経験を通して、公共性を育てるとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	内容のまとまりごとの指導目標	学習内容	評価基準(3観点)・評価方法	知	思	態	配 時 数	
1 学 期	<b>単元：体づくり運動・体育理論</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・自重トレーニング ・ストレッチ ・スポーツの発祥と展開	a 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト b 体の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 c 協力・責任・参画・安全などに意識を持っている。 ※出席率・参加態度			○	9	
	<b>単元：陸上競技</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・短距離走 ・ハードル走	a 必要な体力要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト b 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 c 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度			○	○	9
	<b>単元：球技</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・ラインサッカー	a 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことができる。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト b 規則や審判法の知識がある、目標設定を刷新することができる。 ※審判・チームミーティング・振り返り記録 c 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度			○	○	9
	<b>単元：水泳</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・競泳	a 必要な体力要素があり、技術の名称や動きの原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト b 自己の目標を達成するための練習を計画することができる。 ※学習カード・振り返り記録 c 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度				○	3
3 学 期	<b>単元：球技</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・バレーボール	a 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことができる。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト b 規則や審判法の知識がある、目標設定を刷新することができる。 ※審判・チームミーティング・振り返り記録 c 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度			○	○	11
	<b>単元：体づくり運動・体育理論</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・ウエイトトレーニング ・ストレッチ ・運動・スポーツの学び方	a 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト b 体の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 c 協力・責任・参画・安全などに意識を持っている。 ※出席率・参加態度				○	13
	<b>単元：器械運動</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・跳び箱	・技の名称と合理的な動き方のポイント、系統ごとの共通性を理解することができる。 ※実技テスト・筆記テスト ・正しい方法や組み合わせを理解し、ポイントなどを伝えられる。 ※学習カード・振り返り記録 ・公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度			○	○	10
	<b>単元：球技</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・バドミントン	a 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことができる。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト b 規則や審判法の知識がある、目標設定を刷新することができる。 ※審判・振り返り記録 c 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度			○	○	7
3 学 期	<b>単元：球技</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・バスケットボール	a 必要な体力要素があり、技術を向上させ実践で生かすことができる。 ※ゲームデータ・実技テスト・筆記テスト b 規則や審判法の知識がある、目標設定を刷新することができる。 ※審判・チームミーティング・振り返り記録 c 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度			○	○	7
	<b>単元：体づくり運動・体育理論</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・エアロビクスエクササイズ ・ストレッチ ・豊かなスポーツライフの設計	a 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ※実技テスト・筆記テスト b 体の変化に気づき、目標設定を刷新することができる。 ※学習カード・振り返り記録 c 協力・責任・参画・安全などに意識を持っている。 ※出席率・参加態度				○	5
	<b>単元：武道</b> 【知】活動の意義・必要性の理解 【思】自分の体力の課題発見と適切な目標立案 【学】主体的取組みと安全確保意識	・柔道	a 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称、受け身を理解している。 ※実技テスト・筆記テスト b 練習の成果や改善ポイントから有効な練習を選択するなど、計画立案ができた。 ※学習カード・振り返り記録 c 公正・公平・協力・責任・参画などに意欲を持っている。 ※出席率・参加態度				○	4

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	保健	1単位	教科担当者	富永 一哉		
対象	2 学年 必修		予定授業時間数			
教科書	大修館 現代高等保健体育		1学期	2学期	3学期	合計
副教材	なし		13	10	5	28

教科・科目の目標

【知識及び技能】	教科保健に関する理解を通して、健康課題の解決に必要な基礎的な事項について知識を醸成し、健全な価値観の育成を育む。
【思考力・判断力・表現力】	教科保健に関する理解を通して、健康課題の解決を目指して合理的・計画的な思考や判断ができ、それら表現する力を育む。
【学びに向かう力】	教科保健に関する理解を通して、健康課題に関心を持ち、その解決に向けた学習に主体的に取り組もうとする意識や態度を育む。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域					評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
			健康	生活	環境	職業	安全					
1 学 期	単元：生涯を通じる健康 【知】単元の学習内容や必要性の理解。 【思】自分の健康の課題発見と適切な目標立案。 【学】主体的取組みと健康の維持増進意識の涵養。	ライフステージと健康						【知】思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。※発言・提出物・効果測定	○	○	○	1
		思春期と健康 性意識と性行動の選択						【思】生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。※発表・学習カード・振り返り記録・面談	○	○	○	4
		妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康						【学】生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。※出席率・参加態度	○	○	○	6
		中高年期と健康							○	○	○	2
2 学 期	単元：健康を支える環境づくり 【知】単元の学習内容や必要性の理解。 【思】自分の健康の課題発見と適切な目標立案。 【学】主体的取組みと健康の維持増進意識の涵養。	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活							○	○	○	3
		大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備						【知】人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。※発言・提出物・効果測定	○	○	○	4
		食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用						【思】環境と健康について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。※発表・学習カード・振り返り記録・面談	○	○	○	3
3 学 期	単元：健康を支える環境づくり 【知】単元の学習内容の意義や必要性の理解。 【思】安全に対する課題発見と適切な目標立案。 【学】主体的取組みと安全確保意識。	医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用						【知】人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。※発言・提出物・効果測定	○	○	○	3
		さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加						【思】環境と健康について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。発表・学習カード・振り返り記録・面談	○	○	○	2
								【学】環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。※出席率・参加態度				

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	体育	2 / 4 単位	教科担当者	小谷野 芽衣		
対 象	3 学年 必修 / 必修選択		予定授業時間数			
教 科 書	現代高等保健体育 (大修館)		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		21 / 41	20 / 38	16 / 31	57 / 110

目 標	各領域特有の特性や魅力に応じた課題を発見し、運動に関わる一般原則や科学的な知識を活用して、計画を立て、実践し、活用するといった課題解決の過程を身に付けることで、次の学びにつなげられるようにする。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	5	集団球技・器械運動・個人球技・体育理論	サッカー・トランポリン・テニス・バドミントン・生涯スポーツ	【家】運動の合理性の理解 【学】技能の理解と協調性涵養
		9	集団球技・器械運動・個人球技	サッカー・トランポリン・テニス・バドミントン	【家】運動の合理性の理解 【学】技能の理解と協調性涵養
	6	8	運動能力調査・器械運動・個人球技・水泳	サッカー・トランポリン・テニス・バドミントン・スポーツテスト・水泳	【家】運動の合理性の理解 【学】技能の理解と協調性涵養
		16	器械運動・個人球技・水泳	トランポリン・テニス・バドミントン・水泳	【家】運動の合理性の理解 【学】技能の理解と協調性涵養
2 学期	9	3	集団球技・陸上競技・水泳・体育理論	バレーボール・跳躍競技・テニス・バドミントン・オリパラ教育	【家】運動理論の理解 【学】運動の計画的な実践
		7	集団球技・陸上競技・個人球技	バレーボール・跳躍競技・テニス・バドミントン	【家】運動理論の理解 【学】運動の計画的な実践
	10	6	集団球技・陸上競技・個人球技	バレーボール・跳躍競技・テニス・バドミントン	【家】運動理論の理解 【学】運動の計画的な実践
		12	集団球技・陸上競技・個人球技	バレーボール・跳躍競技・テニス・バドミントン	【家】運動理論の理解 【学】運動の計画的な実践
3 学期	1	7	集団球技・個人球技・体力つくり運動・体育理論	バスケットボール・持久走・テニス・バドミントン・スポーツと環境	【家】健康・安全の理解 【学】運動の組み合わせ方の工夫
		12	集団球技・個人球技	バスケットボール・テニス・バドミントン	【家】健康・安全の理解 【学】運動の組み合わせ方の工夫
	2	6	集団球技・個人球技	バスケットボール・テニス・バドミントン	【家】健康・安全の理解 【学】運動の組み合わせ方の工夫
3 学期	3	3	集団球技・個人球技	バスケットボール・テニス・バドミントン	【家】健康・安全の理解 【学】運動の組み合わせ方の工夫
		7	集団球技・個人球技	バスケットボール・テニス・バドミントン	【家】健康・安全の理解 【学】運動の組み合わせ方の工夫

評 価	出席率・参加率・知識技能・思考・判断・表現・学びに向かう力等を総合し評価する。
-----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	体育	2 / 4 単位	教科担当者	富永 一哉		
対 象	4 学年 必修 / 必修選択		予定授業時間数			
教 科 書	現代高等保健体育 (大修館)		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		20 / 39	20 / 40	7 / 12	47 / 91

目 標	各領域特有の特性や魅力に応じた課題を発見し、運動に関わる一般原則や科学的な知識を活用して、計画を立て、実践し、活用するといった課題解決の過程を身に付けることで、次の学びにつなげられるようにする。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	5	運動能力調査・陸上競技・体力	サッカー・短距離走・体ほぐしの運	【家】 運動の合理性の理解
		9	づくり運動・体育理論	動・運動の意味	【学】 技能の理解と協調性涵養
	5	6	運動能力調査・陸上競技・体力	サッカー・短距離走・体ほぐし	【家】 運動の合理性の理解
		11	づくり運動	の運動	【学】 技能の理解と協調性涵養
6	8	集団球技・陸上競技・体力つく	体力テスト・短距離走・体ほぐ	【家】 運動の合理性の理解	
	16	り運動・水泳	しの運動・水泳	【学】 技能の理解と協調性涵養	
7	1	陸上・体力づくり運動・水泳	リレー・体ほぐしの運動・水泳	【家】 運動の合理性の理解	
		3	水泳	【学】 技能の理解と協調性涵養	
2 学期	9	3	集団球技・体力づくり運動・水	バレーボール・サーキットトレ	【家】 運動理論の理解
		7	泳・体育理論	ーニング・水泳・スポーツ文化	【学】 運動の計画的な実践
	10	5	集団球技・器械運動・体力つく	バレーボール・マット運動・サ	【家】 運動理論の理解
		11	り運動	ーキットトレーニング	【学】 運動の計画的な実践
11	9	集団球技・器械運動・体力つく	バレーボール・マット運動・サ	【家】 運動理論の理解	
	15	り運動	ーキットトレーニング	【学】 運動の計画的な実践	
12	3	集団球技・器械運動・体づくり	バレーボール・マット運動・サ	【家】 運動理論の理解	
		7	運動	ーキットトレーニング	【学】 運動の計画的な実践
3 学期	1	7	集団球技・個人球技・体力つく	バスケットボール・バドミント	【家】 健康・安全の理解
		12	り運動・体育理論	ン・持久走・オリパラ教育	【学】 運動の組み合わせ方の工夫
	2			【家】	
				【学】	
	3			【家】	
				【学】	

評 価	出席率・参加率・知識技能・思考・判断・表現・学びに向かう力等を総合し評価する。
-----	---



令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	英語コミュニケーション I	2 単位	教科担当者	浅沼 昇		
対象	2 学年 必修		予定授業時間数			
教科書	COMET I		1学期	2学期	3学期	合計
副教材	なし		21	21	13	55

教科・科目の目標

【知識及び技能】	日常生活に不可欠な動詞を覚えるとともに英語の語順、修飾後置方法について身に付ける。
【思考力・判断力・表現力】	日常的な話題について簡潔な英語で発話する力をつける。教科書の本文の内容を理解しようとしている。
【学びに向かう力】	英語と日本語の違いに言語的関心を幅広く持ち、簡潔な英語で自己表現しようとしている。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域				評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話	発 書					
1 学 期	単元： LESSON 6 【知】 that節の用法を覚える 【思】 振り返りをしない。 【学】 本文の内容を理解する。	名詞節 thatの用法 教科書、タブレット		○		○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		5
	単元： LESSON 6 【知】 助動詞の働きを覚える。 【思】 助動詞の語順を身に付ける。 【学】 本文の内容を理解する。	助動詞とwillの用法 教科書、タブレット		○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		5
	単元： LESSON 7 【知】 動詞ingの使い分け。 【思】 I studyingをよしとしない。 【学】 本文の内容を理解する。	様々なingの用法 教科書、タブレット		○		○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		5
	単元： LESSON 7 【知】 過去分詞形を覚える。 【思】 I have liveをよしとしない。 【学】 本文の内容を理解する。	現在完了の形と用法 教科書、タブレット	教		○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。振り返りをしっかりと行う。	○	○		6
2 学 期	単元： LESSON 8 【知】 be動詞と過去分詞の使い分け。 【思】 I 一般動詞の過去分詞形を覚える。不規則変化を含む。 【学】 本文の内容を理解する。	受動表現の用法 教科書、タブレット	教	○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		4
	単元： LESSON 8 【知】 助動詞と一般動詞の使い分け。 【思】 助動詞の過去形の意味を覚える。 【学】 本文の内容を理解する。	助動詞の復習と定着 教科書、タブレット	教	○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		6
	単元： Lesson 9 【知】 後置修飾を知る。 【思】 振り返りをしない工夫。 【学】 本文の内容を理解する。	前置詞 ofと後置修飾 教科書、タブレット		○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		6
	単元： Lesson 9 【知】 後置修飾を覚える。 【思】 主語+動詞の意味上の形を演習で覚える。 【学】 教科書の本文を理解する。	後置修飾の様々な例 教科書、タブレット	教	○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。振り返りをしっかりと行う。	○	○		5
3 学 期	単元： Lesson 9 【知】 後置修飾を覚える。 【思】 主語+動詞の意味上の形を演習により強化する。 【学】 教科書の本文を理解する。	後置修飾の種類と用法 教科書、タブレット		○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		4
	単元： Lesson 10 【知】 代名詞の用法を覚える。 【思】 振り返りをしない。 【学】 教科書の本文を理解する。	英会話 代名詞の用法 教科書、タブレット	教	○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		4
	単元： Lesson 10 【知】 who, that, whichを覚える。 【思】 振り返りをしない。 【学】 教科書の本文を理解する。	英会話 関係代名詞を覚える 教科書、タブレット		○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。	○	○		2
	単元： Lesson 10 【知】 who, that, whichを覚える。 【思】 振り返りをしない。 【学】 教科書の本文を理解する。	英会話 関係代名詞を理解する 教科書、タブレット		○	○	○	【知】 授業内容の質問に答える。【思】 タブレット等を用いて難しい本文内容や演習問題を解く。【態】 英語と日本語の違いを知り、国際的視野のもと、向上心を持ち、知的関心を高めようとする。振り返りをしっかりと行う。	○	○		3

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	2 単位	教科担当者	浅沼 昇		
対 象	3 学年 必修		予定授業時間数			
教科書	Revised COMET English Communication II		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副教材	なし		22	22	16	60

目 標	基本的な日常英会話において英語での質問に答えるだけでなく、その話題に沿った質問を行うことで会話を続けられるようにする。教科書の英文を文法に基づいて理解する。複雑な英文を理解するための基礎力を身に付け、返り読みをせず英語の語順に従って理解できる英語力を養う。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	5	Lesson 1	本文の理解。名詞節の that の用法を覚える。比較表現を知る。	【家】 演習と振り返り 【学】 what の機能を覚える。
	5	7	Lesson 1 & 2	英語の語順の復習を行う。後置修飾について知る。	【家】 演習と振り返り 【学】 主語＋動詞を意識する。
	6	7	Lesson 2	受動態の表現を復習する。To 不定詞の表現を学ぶ。	【家】 演習と振り返り 【学】 簡潔な表現で覚える。
	7	3	復習と会話で定着	演習により定着させる。発話により運用能力を高める。	【家】 演習と振り返り 【学】 類似の問題を反復する。
2 学期	9	3	Lesson 3	日本語にはない後置修飾を覚える。返り読みをしない。	【家】 演習と振り返り 【学】 発音して覚える。
	10	7	Lesson 3 & 4	助動詞の基本的用法を身につける。	【家】 演習と振り返り 【学】 イメージを喚起させて覚える。
	11	8	Lesson 4	基本的な ing 形（分詞と動名詞）を整理する。	【家】 演習と振り返り 【学】 解説ではなく推理させる。
	12	4	復習と会話で定着	演習により定着させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 類似の問題を反復する。
3 学期	1	6	Lesson 5	多種多様な to 不定詞の用法を学ぶ。	【家】 演習と振り返り 【学】 反復練習する。
	2	7	Lesson 6	身近なところにある生活の知恵を知る。	【家】 演習と振り返り 【学】 科学単語の学習。
	3	3	復習と会話で定着	苦手な問題をあきらめない。反復練習を行う。	【家】 演習と振り返り 【学】 じっくり取り組むこと。

評 価	出席回数と授業内での学習活動時数、授業内での発話活動と質問への回答の内容、演習問題での意欲と取り組み、振り返り週間での出席と補習での取り組み及び関心、以上を総合して評価する。
-----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	2 単位	教科担当者	浅沼 昇		
対 象	4 学年 必修		予定授業時間数			
教科書	ATLANTIS Hybrid English Communication II		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副教材	なし		20	20	5	45

目 標	英語で書かれた多様な領域に関する文を教科書で読み、理解する。そこで覚えた重要表現を用いて英会話で使う。様々な時事問題に関心を抱き自分の意見を簡潔な英語で言える。日本語と英語の構造の違いを知り、知的関心を高めるとともにさらに難しい内容に取り組む意欲を育てる。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	5	Lesson 6	本文理解 英語の語順に従って理解することを強調する。	【家】 演習と振り返り 【学】 返り読みしないことを指導する。
	5	4	Lesson 7	現在完了進行形と現在進行形の用法を覚える。	【家】 演習と振り返り 【学】 違いを明確にする。
	6	8	Lesson 8& 9	関係代名詞の非制限用法について知る。	【家】 演習と振り返り 【学】 制限用法と混乱させない。
	7	3	Lesson 8&9 復習	演習により定着させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 発話を重視する。
2 学期	9	3	Lesson 10	第4文型と第5文型の違いを理解する。	【家】 演習と振り返り 【学】 簡潔な例文を用いる。
	10	6	Lesson 10 & 11	複文の種類を知り、発話で使えるようにする。	【家】 演習と振り返り 【学】 パターンを厳選する。
	11	7	Lesson 11&12	意識して速読を体験する。何が書かれているか読み取る。	【家】 演習と振り返り 【学】 不明単語にこだわらない。
	12	4	Lesson 10&11 復習	演習の反復により定着させる。	【家】 演習と振り返り 【学】 発話を重視する。
3 学期	1	5	Lesson 12	コミュニケーションと言語について理解を深める。	【家】 演習と振り返り 【学】 言葉とは何か考察する。
	2				
	3				

評 価	出席回数と授業内での学習活動時数、授業内での発話活動と質問への回答の内容、演習問題での意欲と取り組み、振り返り週間での出席と補習での取り組み及び関心、以上を総合して評価する。
-----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	英語会話	2単位	教科担当者	浅沼 昇		
対 象	4 学年 必修選択		予定授業時間数			
教 科 書	My Passport English Conversation		1学期	2学期	3学期	学年
副 教 材	な し		21	22	8	51

目 標	<p>日常の基本的な話題を簡潔な英語で話せる。相手の発話が聞き取れない時には、きちんと聞き返すことができる。国際的時事問題（トピック）について英語で自分の意見が簡潔に言えること。八丈島の歴史、地理、生活等を簡潔に英語で紹介する。基本的な表現を用いてALTとの会話を楽しむ。</p>
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	5	Lesson 1 自己紹介と人を紹介する表現と時事トピック	相手に聞こえる適量の声でゆっくり発話すること。	【家】演習と振り返り 【学】明瞭な声を出すこと。
	5	7	Lesson 2 ホテルの予約、苦情の言い方と時事トピック	相手に聞こえる適量の声でゆっくり発話すること。	【家】演習と振り返り 【学】自信をもって話すこと。
	6	8	Lesson 3 観光に出かける時と時事トピック	難しい日本語を簡単な英語で言い換えること。	【家】演習と振り返り 【学】柔軟な思考で発想すること。
	7	1	Lesson 4 郵便局での問い合わせと時事トピック	難しい日本語を簡単な英語で言い換えること。	【家】演習と振り返り 【学】機転を利かした応用力を育てる。
2 学 期	9	4	Lesson 5 外食先での注文方法と時事トピック	ペアワークにより生徒同士が英語で発話する。	【家】演習と振り返り 【学】間違いを恐れないこと。
	10	4	Lesson 6&7 買い物で必要な表現と時事トピック	ペアワークにより生徒同士が英語で発話する。	【家】演習と振り返り 【学】会話を楽しむこと。
	11	9	Lesson 7&8 公共の乗り物と病院での医者とのやり取り	体の不調を具体的に伝える工夫をすること。	【家】演習と振り返り 【学】工夫を凝らして伝える。
	12	5	Lesson 9 外出についてと時事トピック	八丈島の観光スポットの紹介ができること。	【家】演習と振り返り 【学】的確に伝えること。
3 学 期	1	8	Lesson 10 空港での搭乗前後と時事トピック	はっきりとNoが言えること。	【家】演習と振り返り 【学】何度も聞き返せるようにする。
	2				
	3				

評 価	<p>出席回数と授業内での学習活動時数、授業内での発話活動と質問への回答の内容、聞き取れなくとも何度でも聞き返す意志力とコミュニケーションを継続させようとする意欲、演習問題での取り組み、振り返り週間での出席と補習での取り組み及び関心の度合い、以上を総合して評価する。</p>
-----	---

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	音楽 I	1単位	教科担当者	無量井 英美		
対象	2学年 <b>必修・選択</b>		予定授業時間数			
教科書	高校生の音楽 2		1学期	2学期	3学期	合計
副教材	プリント配布		13	10	9	32

教科・科目の目標

【知識及び技能】	音楽について歌唱・器楽・創作で表現するための知識・技能を習得し、音楽文化の理解を深めること。鑑賞に関すること。
【思考力・判断力・表現力】	音楽表現を工夫し、表現意図をもち、創造的に表す能力を身に付けること。
【学びに向かう力】	音楽への関心・意欲・態度・感性・生涯にわたり音楽を愛好する心情・音楽文化を尊重する態度・豊かな情操を身に付けること。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット	領域				評価基準(観点)	知	思	態	配 時 数
			歌 唱	器 楽	創 造	観 賞					
1 学 期	単元：校歌歌唱 【知】音、声の仕組みを理解する。 【思】歌声に必要な要素を考慮することができる。 【学】他者と協力し、より良い演奏にむけて取り組むことができる。	【指導事項】 ・階名歌唱により正しい音程で歌う ・正しいリズムを身に付ける ・鼻濁音を意識した美しい日本語の発音 ・呼吸法の習得 ・発声の基本を身に付ける	○	○	○	○	・正しい音程とリズムで歌える ・美しい日本語で歌えている ・子音が聞き取ることができる ・母音がレガートである	○	○	○	3
	単元：ギター演奏 【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・G, D7, Cのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・G, D7, Cのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ギター演奏 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ギターによる旋律演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・旋律演奏 「ペーパーテスト」 ・音名・音程・音符と休符・拍子・音階・調号・和音・記号など基礎的な楽典を理解できるか。 ・ワークシートによる練習により理解が深まるか。	○	○	○	3
	単元：ギター合奏 【知】コード、旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ギター合奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	「観察や対話による評価」・個人練習、パート別練習について正しく譜読みができていくか。・他者と協力しながら取り組んでいるか。 「実技(実演)」の評価 ・個人演奏テスト・自己他者評価	○	○	○	4
2 学 期	単元：ピアノ演奏 【知】コードについて正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによるコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C, G, Fのコード演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	2
	単元：ピアノ演奏 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる旋律演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C, G, Fの旋律演奏 ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ピアノ弾き歌い 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C, G, Fのコードによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	3
	単元：ピアノ弾き歌い 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】コードを理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・ピアノによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習	○	○	○	○	・C, G, Fのコードによる弾き歌い ・楽典・音楽の基礎基本の学習と演習問題の取組	○	○	○	2
	単元：楽器演奏 【知】様々な楽器の特性を理解する 【思】合奏のための楽器について考え、選ぶことができる。 【学】グループ演奏について他者と協働し練習に取り組むことができる。	【指導事項】 ・これまで学んできた知識と技術を活用し、グループ演奏を作り上げることができるか。 【教材・タブレット】 ・ICT機器・参考動画	○	○	○	○	「実技(実演)」の評価 ・楽器の演奏(ペアワーク) ・自己他者評価	○	○	○	3
3 学 期	単元：グループによる合奏 【知】選曲に合わせた楽器を選び、楽譜の譜読みができる。 【思】練習計画やポイントなど考えることができる。 【学】他者と協力し、よりよい演奏を目指して取り組むことができる。自己・グループ、他グループについて正しく評価することができる。	【指導事項】 ・各楽器の楽譜を理解し、正しく演奏することができる。 ・パート別楽譜をそれぞれ理解させ、段階的な練習に取り組む。 ・課題発表会の開催にむけて準備をすることができる。 【教材・タブレット】 ・ICT機器・参考動画	○	○	○	○	「観察や対話による評価」 ・1年間の集大成として、今まで学んだ音楽に対する知識を活かし、創意工夫や他者との協力によってよりよい演奏を目指し、取り組むことができるか。 「実技(実演)」の評価 ・グループ合奏(実技) ・自己他者評価 振り返りと、今後の音楽との関わりについて考えることができるか。	○	○	○	4
	単元：音楽鑑賞 【知】オペラの内容理解 【思】音楽に込められた作曲家の意図を探る。 【学】音楽理論の基本を理解し、鑑賞に生かす。	【指導事項】 ・これまで学んできた知識と技術を活用し、鑑賞に生かす。 【教材・タブレット】 ・ICT機器・参考動画	○	○	○	○	・曲想と歌詞の関りや、旋律の特徴を知る。 ・歌詞の内容を理解する。	○	○	○	2

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	音楽Ⅱ	1 単位	教科担当者	無量井 英美		
対 象	3 学年		予定授業時間数			
教 科 書	音楽Ⅲ 改訂版		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	プリント配布		1 2	1 2	9	3 3

目 標	<p>音楽の歴史と文化を教科書や資料、鑑賞することにより音楽への理解を一層深めることができる。</p> <p>歌唱・合唱に他者と協力しながら自主的に取り組み、よりよい演奏をすることができる。</p> <p>様々な楽器の練習・演奏を通じて、音楽を積極的に創意工夫する意欲とともに、高度な技能を身に付ける。</p>
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	3	校歌歌唱	正しい音程とリズムを身に付ける 美しい日本語での歌唱	階名歌唱の自宅練習
	5	3	ギター演奏 楽典	G,D7,C のコード演奏 楽典・音楽の基礎基本の学習と演習 問題の取組	楽典の自宅学習
	6	4	ギター演奏	G,D7,C のコード演奏 旋律練習	音楽鑑賞
	7	2	ギター合奏	旋律とコードでの合奏	音楽鑑賞
2 学 期	9	2	ピアノ演奏	G,F,C のコード演奏 楽典・音楽の基礎基本の学習と演習	楽典の自宅学習
	10	4	弾き歌い	日本歌曲、童謡歌唱 ピアノコード練習	音程の階名読み練習 リズム練習
	11	3	弾き歌い 合奏練習	ギターもしくはピアノでの弾き歌い	音程の階名読み練習 リズム練習
	12	3	楽器演奏 合奏	自身の専攻楽器を決め合奏を行う	演奏練習
3 学 期	1	3	楽器演奏 合奏	互いの音を聞き合い、和声を意識した合奏を目指す	個人練習
	2	4	楽器演奏 合奏	演奏会を計画・企画し、開催する。 自己・他者評価による振り返り	一年間の振り返り 自己評価・学習成果の共有
	3	2	音楽鑑賞	交響曲、ミュージカル、オペラより 選択し鑑賞する	音楽鑑賞

評 価	「ペーパーテスト」「行動観察」「実技（実演）」「自己評価」「他者評価」「出席状況」
-----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	音楽Ⅱ	1 単 位	教科担当者	無量井 英美		
対 象	4 学年		予定授業時間数			
教 科 書	音楽Ⅲ 改訂版		1 学期	2 学期	3 学期	学 年
副 教 材	プリント配布		1 2	1 1	3	2 6

目 標	<p>音楽の歴史と文化を教科書や資料、鑑賞することにより音楽への理解をより一層深めることができる。</p> <p>歌唱・合唱に他者と協力しながら自主的に取り組み、よりよい演奏をすることができる。</p> <p>様々な楽器の練習・演奏を通じて、音楽を積極的に創意工夫する意欲とともに、高度な技能を身に付ける。</p>
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	3	校歌歌唱	正しい音程とリズムを身に付ける 美しい日本語での歌唱	階名歌唱の自宅練習
	5	3	ギター演奏 楽典	G,D7,C のコード演奏 楽典・音楽の学習と演習問題の取組	楽典の自宅学習
	6	4	ギター演奏	G,D7,C のコード演奏 旋律練習	音楽鑑賞
	7	2	ギター合奏	旋律とコードでの合奏	音楽鑑賞
2 学 期	9	2	ピアノ演奏	G,F,C のコード演奏 楽典・音楽の学習と演習問題の取組	楽典の自宅学習
	10	4	弾き歌い	日本歌曲、童謡歌唱 ピアノコード練習	音程の階名読み練習 リズム練習
	11	3	弾き歌い 合奏練習	ギターもしくはピアノでの弾き歌い	音程の階名読み練習 リズム練習
	12	2	楽器演奏 合奏	自身の専攻楽器を決め合奏を行う	演奏練習
3 学 期	1	3	楽器演奏 合奏	互いの音を聞き合い、和声を意識した合奏を目指す	個人練習 一年間の振り返り 自己評価・学習成果の共有
	2	0			
	3	0			

評 価	「ペーパーテスト」「行動観察」「実技（実演）」「自己評価」「他者評価」「出席状況」
-----	---

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者： 浅野 美優

使用教科書： （ 高校生の美術 1 ）

教科 芸術 目標

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I 目 標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして創造的に発想を練ったり、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の幅広い創作活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美的感覚を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ ・ 映								
1 学 期	自己紹介似顔絵 【知識及び技能】 自身の顔をよく観察し、似顔絵を描くとともに、まとめた情報をイラスト化し、自分の似顔絵に取り入れられる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したい自分の情報を整理し、まとめる。また、他の生徒の作品を鑑賞し、良さや工夫点に気が付く。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら自身の長所や特技などを見つけるとともに、積極的に他の生徒と話し合いを行い、他者から見た自分の情報を見つける。	ワークシート、タブレットを用いて、1年間の授業と到達目標について把握し、意欲を高める。 チームスに過去の作品を配布し、鑑賞を行う。 自己紹介シートの記入、及び、自分の紹介する情報を整理し、ほかの生徒と意見交換を交えながら、文章としてまとめる。 整理した情報をイラスト化し、ケント紙に似顔絵を描くとともに自己紹介としての情報を絵画に取り入れることができる。	○	○	○	○					3
	八丈の風景 【知識及び技能】 画像などの情報をまとめた上で、「八丈島らしさ」をあらわした作品を描く。 【思考力、判断力、表現力等】 「八丈島らしさ」理解するとともに、絵柄やモチーフ、画材などを考え、アイデアスケッチに起こす。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に他の生徒と意見交換をし、参考となる情報を収集しまとめる。	タブレットやワークシートを用いて八丈島について調べ、鑑賞し、モチーフの要素を整理理解する。マインドマップを作成し、八丈島についての情報できるだけ多く書き出し、デザインに使用できそうな要素を整理する。 アイデアスケッチをもとに、ケント紙に丁寧に線を整えながら下描きを描く。	○	○	○	○					9
2 学 期	季節の絵葉書 【知識及び技能】 季節に合ったデザインを考え、適切な画材を選択し丁寧に描く。 【思考力、判断力、表現力等】 季節のイラストとは何かを考えるとともに、小さい画面を効果的に活かす表現を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 参考作品を主体的に調べたり、画材の試し書きを行い、より良い作品を制作している。	季節に沿った絵葉書のアイデアを考え、アイデアスケッチを行う。 作品の雰囲気に合わせて画材を選択し、着色する。 モチーフの細密な部分まで描きこみ、仕上げを。	○	○	○					2	
	木版画 【知識及び技能】 木版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げを。 【思考力、判断力、表現力等】 木版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げを。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に参考作品を調べるとともに、好みの画風を見つける。	タブレットやワークシートを用いて木版画作品を鑑賞し、木版画独特の表現について理解し、アイデアを練る。 練ったアイデアスケッチをもとに、版木に下絵を描き、練ったアイデアスケッチをもとに、版木に下絵を描く。 影となる部分や模様となる部分を、適切な彫刻刀を選択し丁寧に削り出す。 作品の雰囲気に合った色を選定し、水彩絵の具を適切な濃さで版木に塗り、和紙に転写する。	○	○	○	○					9
3 学 期	リサイクル紙作り 【知識及び技能】 創意工夫を凝らしたオリジナルの和紙をデザインするとともに、紙漉きの技術を学習し制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 和紙の構造を理解し、使用できる用途を考える他、用途に合わせたデザインを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に材料を集め、また、ほかの生徒と意見交換を拡げる。	和紙の作る過程を学習し、自身と和紙に取り入れた材料を選定する。 溶かした牛乳パックを紙漉きし、任意の材料を用いて和紙を彩る。 完成した和紙を活用し、ほかの作品を制作する。	○	○	○					3	
	コマ送りアニメ 【知識及び技能】 アニメーションの仕組みを理解し、物語性のある10コマのアニメーションを作る。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションを制作する過程で、どのようにしてコマを展開すれば効果的であるか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組む。	限られたコマ数の中でどのような物語を組むか考え、絵コンテを制作する。 絵コンテをもとに写真を撮影し、微調整をしながら必要な素材を集め、撮影した写真をもとに、アニメーションを作る。	○	○	○						5
										合計	
										31	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者： 浅野 美優

使用教科書： 高校生の美術 1

教科 芸術 目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の幅広い創作活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映							
自己紹介似顔絵 【知識及び技能】 自身の顔をよく観察し、似顔絵を描くとともに、まとめた情報をイラスト化し、自分の似顔絵に取り入れられる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したい自分の情報を整理し、まとめる。また、他の生徒の作品を鑑賞し、良さや工夫点に気が付く。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら自身の長所や特技などを見つけるとともに、積極的に他の生徒と話し合いを行い、他者から見た自分の情報を見つける。	ワークシート、タブレットを用いて、1年間の授業と到達目標について把握し、意欲を高める。 チームズに過去の作品を配布し、鑑賞を行う。 自己紹介シートの記入、及び、自分の紹介する情報を整理し、ほかの生徒と意見交換を交えながら、文章としてまとめる。 整理した情報をイラスト化し、セント紙に似顔絵を描くとともに自己紹介としての情報を絵画に取り入れることができる。	○	○	○	○		○	○	○	3
キャラクターデザイン 【知識及び技能】 情報をまとめた上で、キャラクターとはどのようにしてできるかを理解し、自己投影されたキャラクターのデザインをする。 【思考力、判断力、表現力等】 キャラクターとはなにか学習し、理解するとともに、自己とは何か考え、アイデアスケッチに起こす。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に他の生徒と意見交換をし、参考となる情報を収集しまとめる。	タブレットやワークシートを用いて既存のキャラクター調べ、鑑賞し、モチーフの要素を整理しながらキャラクターとはどのようにしてつくられるのか理解する。マインドマップを作成し、自分についての情報できるだけ多く書き出し、デザインに使用できそうな要素を整理する。 アイデアスケッチをもとに、セント紙に丁寧に線を整えながら下書きをかく。	○	○	○	○					9
残暑絵葉書 【知識及び技能】 季節に合ったデザインを考え、適切な画材を選択し丁寧に描く。 【思考力、判断力、表現力等】 季節のイラストとは何かを考えるとともに、小さい画面を効果的に活かす表現を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 参考作品を主体的に調べたり、画材の試し書きを行い、より良い作品を制作している。	季節に沿った絵葉書のアイデアを考え、アイデアスケッチを行う。 作品の雰囲気に合わせて画材を選択し、着色する。 モチーフの細かな部分まで描きこみ、仕上げをかける。	○	○		○					2
四版画 【知識及び技能】 四版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げる。 【思考力、判断力、表現力等】 木版画の表現技法について学習し、自身の構想に合う技法を選択しながら彫るとともに、刷りまで丁寧に仕上げる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に参考作品を調べるとともに、好みの画風を見つける。	タブレットやワークシートを用いて四版画作品を鑑賞し、四版画独特の表現について理解し、アイデアを練る。 練ったアイデアスケッチをもとに、PP版に下絵を描き、練ったアイデアスケッチをもとに、PP版に下絵を描く。 影となる部分や模様となる部分を、適切なニードルやカッターを選択し丁寧に削り出す。 作品の雰囲気に合った色を選定し、油絵の具を適切な濃さで版木に塗り、水彩紙に転写する。	○	○		○					9
和紙作り 【知識及び技能】 創意工夫を凝らしたオリジナルの和紙をデザインするとともに、紙漉きの技術を学習し制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 和紙の構造を理解し、使用できる用途を考える他、用途に合わせたデザインを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に材料を集め、また、ほかの生徒と意見交換を拡げる。	和紙の作る過程を学習し、自身が和紙に取り入れたい材料を選定する。 溶かした牛乳パックを紙漉しし、任意の材料を用いて和紙を彫る。 完成した和紙を活用し、ほかの作品を制作する。	○	○		○					3
10コマアニメ 【知識及び技能】 アニメーションの仕組みを理解し、物語性のある10コマのアニメーションを作る。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションを制作する過程で、どのようにしてコマを展開すれば効果的であるか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組む。	限られたコマ数の中でどのような物語を組むか考え、絵コンテを制作する。 絵コンテをもとに写真を撮影し、微調整をしながら必要な素材を集め、撮影した写真をもとに、アニメーションを作る。	○	○		○					5
										合計
										31

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	美術Ⅱ	1 単位	教科担当者		浅野 美優	
対 象	4 学年 必修・必修選択		予定授業時間数			
教 科 書	光村図書「美術Ⅱ」		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		1 3	1 3	3	2 9

目 標	更に発展的な作品を表現・制作する楽しさを味わい、生涯にわたって芸術を愛好する心情を養うとともに、感性を高める。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	3	絵画 自己紹介似顔絵	自分を表現した似顔絵を創造し、工夫を凝らしながら描くことができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 自己紹介と似顔絵の制作
	5	3	デザイン（発展） マイインドキャラクター	キャラクターの構想の過程を理解し、アイデアに活かすことができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 情報収集とアイデアを練る
	6	4	デザイン（発展） マイインドキャラクター	マインドマップをもとにオリジナルのキャラクターを練ることができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 キャラクターを制作する
	7	2	デザイン（発展） マイインドキャラクター	アクリルガッシュを用いて、作品を細部まで丁寧に仕上げることができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 細部の着色
2 学期	9	2	絵画（発展） 水彩絵葉書	水彩絵の具を用いてこだわりを持って絵葉書を描くことができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 絵葉書の作成
	10	3	版画 細密木版画	木版画の線や点、木目の美しさなどの表現を生かした下絵を練ることができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 版画の構想を練る
	11	3	版画 細密木版画	彫刻刀の技法を学習し、適切な刃を用いて細密に彫ることができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 版木を彫る
	12	3	版画 細密木版画	制作した版木と和紙を用いて1色刷りで刷ることができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 版画の刷りを行う
3 学期	1	3	工芸（発展） 創作和紙作り	素材になりそうなものを集めカラフルな、和紙を制作することができる。	【家】 演習と振り返り 【学】 和紙の制作、
	2				【家】 【学】
	3				【家】 【学】

評 価	作品の提出状況、作品の完成度、授業態度、遅刻、欠席を総合的に評価する。
-----	-------------------------------------

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	書道Ⅱ	1 単位	教科担当者		吉田 夏歩	
対 象	3 学年		予定授業時間数			
教 科 書	東京書籍 書道Ⅱ		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		12	12	9	33

目 標	書写能力をさらに高めるとともに書の表現と鑑賞の能力をより一層個々の能力に合わせ伸ばしていく。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	3	漢字の書	基本部分の確認と復習	【家】 演習と振り返り 【学】 プリントで練習
	5	3	漢字の書 隸書	隸書の用筆法と字形の構成の確認	【家】 演習と振り返り 【学】 隸書の演習
	6	4	漢字の書 隸書	隸書の見方、表現法を確認し学習する。	【家】 演習と振り返り 【学】 臨書の演習
	7	2	漢字かな交じりの書	線質の調和表現をさらに理解する。	【家】 演習と振り返り 【学】 様々な用筆法を比較する
2 学期	9	2	漢字の書 篆書体	篆書体の基本、用筆法、執筆法を学習	【家】 演習と振り返り 【学】 篆書体を知る
	10	4	篆刻	印の彫り方を理解する。	【家】 演習と振り返り 【学】 印の彫り方を学ぶ
	11	4	仮名の書	古典作品を臨書し、和歌に触れる。	【家】 演習と振り返り 【学】 和歌と時代背景
	12	2	仮名の書	古典作品を臨書し、和歌に触れる	【家】 演習と振り返り 【学】 和歌と時代背景
3 学期	1	3	硬筆	生活の中の書に触れる。	【家】 演習と振り返り 【学】 さまざまな筆記部を使いこなす
	2	4	硬筆	紙面構成を考えながら漢字と仮名のバランスを理解する。	【家】 演習と振り返り 【学】 余白と線質を理解する
	3	2	硬筆	創作完成	【家】 演習と振り返り 【学】 完成

評 価	出席、授業態度、授業時に制作した作品、作品の制作意図や鑑賞で感じたことはワークシートや会話で確認し、総合して評価する。
-----	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	書道 I	1 単 位	教科担当者	吉田 夏歩		
対 象	4 学年		予定授業時間数			
教 科 書	東京書籍 書道 I		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		12	12	3	27

目 標	楷書体、行書体等の書写能力を高めるとともに幅広い書の表現と鑑賞の能力を個々の実力に合わせて伸ばしていく。
-----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	3	3	漢字の書 (楷書体)	基本部分の確認と復習	【家】演習と振り返り 【学】プリントで練習
	3	3	漢字の書 (楷書体)	楷書の用筆法と字形の構成の確認	【家】演習と振り返り 【学】プリントで練習
	4	4	漢字の書	古典の臨書をとおして楷書の作品に触れる。	【家】演習と振り返り 【学】プリントで練習
	2	2	漢字の書	線質の調和表現を理解する。	【家】演習と振り返り 【学】線質の理解
2 学 期	9	2	篆刻	篆刻の用具・用材の取り扱い方を復習し、刻線の表現の技能を高める。	【家】演習と振り返り 【学】刻線の表現の技能
	10	4	篆刻	篆刻の用具・用材の取り扱い方を復習し、刻線の表現の技能を高める。	【家】演習と振り返り 【学】刻線の表現の技能
	11	4	漢字の書 臨書	古典作品の行書体を臨書し、その表現に触れる。	【家】演習と振り返り 【学】臨書作品の理解
	12	2	漢字の書 臨書	古典作品の行書体を臨書し、その表現に触れる。	【家】演習と振り返り 【学】臨書作品の理解
3 学 期	1	3	漢字かな交じりの書	生活の中の書に触れ、様々な筆記具の特長を理解する。	【家】演習と振り返り 【学】漢字と仮名の練習
	2				
	3				

評 価	出席、授業態度、授業時に制作した作品、作品の制作意図や鑑賞で感じたことはワークシートや会話で確認し、総合して評価する。
-----	---



# 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科情報 科目情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者： 伊藤 隆晃

使用教科書：（ 東京書籍 一新編 情報 I ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】

情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身につけていること。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていること。

【学びに向かう力、人間性等】

情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身につけていること。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現。コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人とのかかわりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

21:	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>1. 情報を知覚する 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。情報技術に果たす役割や影響と関連する影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や影響、情報モラルなどについて、それらの側面を科学的に捉え、それらに目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付けて実践し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立つようとする態度を養う。</p>	<p>1. 情報を知覚する 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会における個人の果たす役割や影響、情報モラルなどについて、それらの側面を科学的に捉え、それらに目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付けて実践し、評価し改善すること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や影響、情報モラルなどについて、それらの側面を科学的に捉え、それらに目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付けて実践し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立つようとする態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】 ・情報の特性から情報は何かを理解できる。 ・情報やメディアの特性を理解できる。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義を理解できる。 ・個人情報がどのようなものか理解できる。 ・個人情報が流出・特定される仕組みを理解できる。 ・情報セキュリティの重要性・生活の変化が理解できる。 ・情報化による健康への影響などの「影」の部分を理解できる。 ・デジタルデザインとユニバーサルデザインを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・各メディアのメリット、デメリットが判断できる。 ・情報モラルに照らして情報を発信することができる。 ・3次元で思考や想像を促すための目的が判断できる。 ・セキュリティ「上」および「下」の両方について判断できる。 ・学校で利用できる事例を判断できる。 ・セキュリティ意識の向上のメリットを判断できる。 ・サーバ・クライアントの役割を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「情報やメディア」についての情報を活用しようとしている。 ・ネットやSNSの活用で、新たな生活スタイルを構築し、日常生活に活かそうとしている。 ・情報モラルを理解し、生活自身がメディアを使うときのルールやマナーを再確認し、日常生活に活かそうとしている。</p>	○	○	○	13
1 学期	<p>2. 情報を伝える 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会における個人の果たす役割や影響、情報モラルなどについて、それらの側面を科学的に捉え、それらに目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付けて実践し、評価し改善すること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や影響、情報モラルなどについて、それらの側面を科学的に捉え、それらに目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付けて実践し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立つようとする態度を養う。</p>	<p>2. 情報を伝える 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会における個人の果たす役割や影響、情報モラルなどについて、それらの側面を科学的に捉え、それらに目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付けて実践し、評価し改善すること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や影響、情報モラルなどについて、それらの側面を科学的に捉え、それらに目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考案すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付けて実践し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立つようとする態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を、その実態も踏まえて理解できる。 ・ネットコミュニケーションの特性を理解できる。 ・画像のメリット、デメリットが判断できる。 ・2次元、3次元、4次元の仕組みが理解できる。 ・デジタル化の利便性、安全性、符号化が理解できる。 ・光と色の三原色を理解できる。 ・動画の仕組みが理解できる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解できる。 ・情報セキュリティの重要性を理解できる。 ・ユニバーサルデザインについて理解できる。 ・ユニバーサルデザインのメリットとデメリットを理解できる。 ・情報デザインのプロセスを理解できる。 ・デザイン思考に基づいた分析を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から適切な情報の表現ができる。 ・適切なメディアの選択による社会や生活の変化を判断することができる。 ・デジタルデータやアナログデータの両方を利用できる。 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを判断することができる。 ・画像や音声の圧縮形式が判断できる。 ・情報セキュリティの重要性を理解できる。 ・ユニバーサルデザインの重要性を判断できる。 ・想定したユーザーの考えや行動を分析できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・WordやExcelの活用を通して、様々な資料をまとめるようとしている。 ・WordやExcelの活用を通して、情報デザインに活用しようとしている。 ・ユニバーサルデザインに照らして情報デザインを作成しようとしている。</p>	○	○	○	9
2 学期	<p>3. コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴。コンピュータでの情報の内部表現と外部表現の仕組みについて理解すること。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを運用する方法について理解し技能を身に付けること。社会や個人などにおける事象をモデル化する手段、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じてアルゴリズムを考案し適切な方法で実践し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを運用するとともに、その結果を評価し改善すること。目的に応じてモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考案すること。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する活動を通して、コンピュータを活用しようとする態度を養う。</p>	<p>3. コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴。コンピュータでの情報の内部表現と外部表現の仕組みについて理解すること。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを運用する方法について理解し技能を身に付けること。社会や個人などにおける事象をモデル化する手段、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じてアルゴリズムを考案し適切な方法で実践し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを運用するとともに、その結果を評価し改善すること。目的に応じてモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考案すること。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する活動を通して、コンピュータを活用しようとする態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】 ・Pythonプログラムの基礎を理解する。 ・アルゴリズムの表現ができるようになる。 ・フローチャートが作れるようになる。 ・演算がプログラム上でできるようになる。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータの基本構成を理解できる。 ・オペレーティングシステムとアプリケーションの役割を理解できる。 ・CPUのプログラムの実行の仕組みを理解できる。 ・プログラムの実行の仕組みを理解できる。 ・コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。 ・AND、OR、NOTの論理の仕組みを理解できる。 ・プログラムのアルゴリズムの基礎を理解できる。 ・フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。 ・プログラムを作成することができる。 ・プログラムの実行の仕組みを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラミングの活用を通して、様々な資料をまとめるようとしている。</p>	○	○	○	11
2 学期	<p>4. コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴。コンピュータでの情報の内部表現と外部表現の仕組みについて理解すること。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを運用する方法について理解し技能を身に付けること。社会や個人などにおける事象をモデル化する手段、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じてアルゴリズムを考案し適切な方法で実践し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを運用するとともに、その結果を評価し改善すること。目的に応じてモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考案すること。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する活動を通して、コンピュータを活用しようとする態度を養う。</p>	<p>4. コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴。コンピュータでの情報の内部表現と外部表現の仕組みについて理解すること。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを運用する方法について理解し技能を身に付けること。社会や個人などにおける事象をモデル化する手段、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じてアルゴリズムを考案し適切な方法で実践し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを運用するとともに、その結果を評価し改善すること。目的に応じてモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考案すること。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する活動を通して、コンピュータを活用しようとする態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】 ・Pythonプログラムの基礎を理解する。 ・アルゴリズムの表現ができるようになる。 ・フローチャートが作れるようになる。 ・演算がプログラム上でできるようになる。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータの基本構成を理解できる。 ・オペレーティングシステムとアプリケーションの役割を理解できる。 ・CPUのプログラムの実行の仕組みを理解できる。 ・プログラムの実行の仕組みを理解できる。 ・コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。 ・AND、OR、NOTの論理の仕組みを理解できる。 ・プログラムのアルゴリズムの基礎を理解できる。 ・フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。 ・プログラムを作成することができる。 ・プログラムの実行の仕組みを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラミングの活用を通して、様々な資料をまとめるようとしている。</p>	○	○	○	11
3 学期	<p>5. データを活用する 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素。プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保する方法や技術について理解すること。データを蓄積、管理、活用する方法。情報通信ネットワークを通して情報のシステムがサービスを提供する仕組みと仕組みについて理解すること。データを表現、蓄積するための表形式。データの収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えること。情報システムを構築するサービスの具体的な仕組みについて考えること。データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目し、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを選択し、問題を発見・解決する活動を通して、データを活用する態度を養う。 取り返すを行う。</p>	<p>5. データを活用する 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素。プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保する方法や技術について理解すること。データを蓄積、管理、活用する方法。情報通信ネットワークを通して情報のシステムがサービスを提供する仕組みと仕組みについて理解すること。データを表現、蓄積するための表形式。データの収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えること。情報システムを構築するサービスの具体的な仕組みについて考えること。データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目し、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを選択し、問題を発見・解決する活動を通して、データを活用する態度を養う。 取り返すを行う。</p>	<p>【知識・技能】 ・インターネットとはどのようなものか、理解できる。 ・LANとWANの違いを理解できる。 ・プロトコル、そのついでであるIPを理解できる。 ・ルータやハブの役割を理解できる。 ・IPアドレスの調べ方を知っている。 ・サーバクライアントの役割を理解できる。 ・DNSの役割と動作の仕組みを理解できる。 ・Webページを閲覧する仕組みを理解できる。 ・電子メールを送信する仕組みを理解できる。 ・個人認証と暗号化について理解できる。 ・ファイアウォールについて理解できる。 ・実際のデータと実際のデータの違いを理解できる。 ・名寄せ、集約、集約、関係性、比較関係の違いを理解できる。 ・データの伝送速度を理解できる。 ・統計システム、P2Pシステムでのデータの活用方法を理解できる。 ・データベース管理システムの必要性を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・ドメイン名とメールアドレス、URLの関係を判断できる。 ・ネットワークのトラブルが起った際に対応を判断できる。 ・あるデータとの対応に果たして判断できる。 ・情報セキュリティの重要性を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デバッグを行い、プログラムを改善しようとしている。 ・データ分析の結果と結果を改善しようとしている。データ分析の改善をしようとしている。</p>	○	○	○	15

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科 目	食品製造	2単位	教科担当者	松本 海		
対 象	4 学年		予定授業時間数			
教 科 書	食品製造（実教出版）		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副 教 材	な し		21	23	8	52

目 標	食品製造に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と加工の原理を理解させる。 レポートをまとめる力と表現を身につけさせる。
-----	---

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学 期	4	5	食品加工と食品衛生 穀類の加工（1）	食品衛生と手順 クッキーの製造	【家】演習と振り返り 【学】穀類を中心とした製造実習
	5	7	穀類の加工（2）	小麦の種類と特性 パウンドケーキの製造	【家】演習と振り返り 【学】穀類を中心とした製造実習
	6	8	鶏卵の加工	マヨネーズ・プリン製造	【家】演習と振り返り 【学】鶏卵を使用した製造実習
	7	1	野菜類の加工	ブルーベリージャムの製造	【家】演習と振り返り 【学】野菜類を使用した製造実習
2 学 期	9	4	穀類の加工（3）	パンの製造原理	【家】演習と振り返り 【学】パンの製造実習
	10	4	穀類の加工（4）	ロールパンの製造原理	【家】演習と振り返り 【学】パンの製造実習
	11	10	豆類の加工	あんの製造	【家】演習と振り返り 【学】豆類を使用した製造実習
	12	5	穀類の加工（5）	あんぱんの製造	【家】演習と振り返り 【学】パンの製造実習
3 学 期	1	8	穀類の加工（6）	ガトーショコラの製造	【家】演習と振り返り 【学】穀類を中心とした製造実習
	2				
	3				

評 価	実習態度、レポート、プリント記入、出席状況などを総合的に判断し、評価する。
-----	---------------------------------------

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 1学年 年間授業計画

科目	ベーシック	1単位	教科担当者	小谷野芽衣 増田潔 鈴田耕大 富永一哉			
対象	1学年 必修		予定授業時間数				
教科書	なし		1学期	2学期	3学期	合計	
副教材	なし		9	9	8	26	

教科・科目の目標

【知識及び技能】	基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。
【思考力・判断力・表現力】	個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。
【学びに向かう力】	100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット					評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等					【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】4.5分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	9
2 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等					【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】4.5分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	9
3 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等					【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】4.5分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	8

令和5年度 東京都立 八丈高等学校 定時制課程 2学年 年間授業計画

科目	ベーシック	1単位	教科担当者	小谷野芽衣 増田潔 鈴田耕大 富永一哉			
対象	2学年 必修		予定授業時間数				
教科書	なし		1学期	2学期	3学期	合計	
副教材	なし		9	9	8	26	

教科・科目の目標

【知識及び技能】	基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高める。
【思考力・判断力・表現力】	個人の学力や進度、進路に必要な知識について理解し、工夫して学習に取り組む力を高める。
【学びに向かう力】	100マス計算や各自の学習プリントに取り組むことにより、集中力や継続力を高める。

	単元の具体的指導目標(3観点)	指導事項・教材・タブレット					評価基準(3観点)	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等					【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】4.5分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	9
2 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等					【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】4.5分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	9
3 学 期	単元：ベーシック 【知】基礎的な計算や読み書きの理解。 【思】自己に合った学習方法の確立。 【学】自己の課題に継続的に取り組む態度を養う。	100マス計算 算数・数学の簡単な計算 漢字の読み書き 英語の基礎的表現 資格勉強等					【知】基本的な計算や漢字、英語表現を理解している。 【思】習熟度や個人の目標に応じた学習プリントに取り組み、自己に適した学習方法で進めている。 【学】4.5分間集中して取り組み、自らの学習のつまづきに気付いたり、改善しようとしていたりしている。	○	○	○	8

令和5年度 年間授業計画

東京都立八丈高等学校定時制課程

科目	ベーシック	1 単位	教科担当者			
			小谷野芽衣 鈴田耕大 富 永一哉 増田潔 浅沼昇			
対象	3 / 4 学年		予定授業時間数			
教科書	なし		1 学期	2 学期	3 学期	学年
副教材	なし		9/9	9/9	8/3	26/21

目標	基本的計算力と基本的な漢字の読み書き（漢字検定2級相当まで）、基礎的な英語表現、及び進路に必要な知識や技能を高めるとともに、集中力や継続する力を高める。
----	--

期	月	時	単元名と学習項目	指導目標・学習内容	家庭学習と学校での授業
1 学期	4	1	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	5	3	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	6	4	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	7	1	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
2 学期	9	2	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	10	3	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	11	3	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	12	1	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
3 学期	1	3	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	2	4	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習
	3	1	100マス計算、算数・数学の基礎、漢字、英語の基礎、資格勉強	100マス計算1回、その後基礎的計算又は漢字・英語の読み書き、資格勉強等	【家】演習と振り返り 【学】基本事項の演習

評価	出席、授業時の意欲と姿勢、進度を総合し評価する。
----	--------------------------